



次世代の農業経営者を育てる

大分県指導農業士からの メッセージ

大分県指導農業士会・大分県
(令和4年～5年度認定者)

目 次

- 1 発行にあたって P 1～ 2
- 2 大分県指導農業士会 R 4～R 5年度認定者一覧 P 3～ 4
- 3 大分県指導農業士からのメッセージ
東部地区(別府市・杵築市・国東市・日出町) P 5～15
中部地区(大分市・臼杵市・津久見市・由布市) P16～25
南部地区(佐伯市) P26～31
豊肥地区(竹田市・豊後大野市) P32～42
西部地区(日田市・九重町・玖珠町) P43～54
北部地区(中津市・豊後高田市・宇佐市) P55～70
- 4 大分県指導農業士制度について P71
- 5 問い合わせ窓口一覧 P72

大分県指導農業士からのメッセージ集の発行にあたって

日頃より、大分県指導農業士会の活動にご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、私たち指導農業士は、令和4年8月の認定交付式において、大分県知事から認定を受けまして、県下67名の新体制となりました。私たちのことをたくさんの方々に知ってもらいたいと思い、今回、新規会員を加えてメッセージ集を発行しました。

コロナ禍でなかなか「密に」集まることが難しかった3年間、人と人との関わり方だけでなく、世界情勢や景気動向までも大きく様変わりしました。まわりの変化を敏感に感じ取り、仲間とのネットワークを大切にしながら舵取りしていくのが農業経営の基本です。私自身、今年度は指導農業士の『改革元年』と思い、地域の指導農業士の会合に三役が出向き対面で話をするなど、一歩一歩ですが改革を始めているところです。

このメッセージ集を通じて、私たち指導農業士一人一人を身近に感じてもらえれば幸いです。大分県指導農業士会では、今年度の活動方針のスローガンを『大分県農業の成長産業化に向けた経営体育成』と定め、指導者として常に学び続ける姿勢を忘れず、相互研鑽や自身の資質向上に努めて参りますので、今後ともよろしく申し上げます。

大分県指導農業士会

会長 池永 勝己

大分県指導農業士会 令和4年度活動方針

スローガン『大分県農業の成長産業化に向けた経営体育成』

1 地域活動の活発化

6地区毎に地域活動担当を置き、地区単位で行われる農業青年や新規就農者等の研修会や意見交換会等の際に振興局との調整を担い、指導農業士の地域での活動の場を広げます。

東部地区：田畑 修一（杵築市）	中部地区：油井 克己（大分市）
南部地区：黒岩 真由美（佐伯市）	豊肥地区：武藤 俊文（豊後大野市）
西部地区：高瀬 政寛（日田市）	北部地区：土谷 朋子（豊後高田市）

2 指導農業士の資質向上

次世代の農業経営者を育てる指導者として、必要な能力やふさわしい資質を磨いていくための研究会を企画・実施します。

3 指導農業士の相互研鑽

研究会において、6地区代表が指導農業士の活動を事例発表する場を設け、新規会員は元より会員全員に指導農業士の役割を認識してもらうとともに、会員同士の相互研鑽の機会を設けます。

大分県指導農業士 令和4～5年度認定者一覧表

地区	No	市町村名	氏名	ふりがな	期間	役職	主な経営品目	ページ数
東部地区	1	別府市	小手川 誠	こてがわ まこと	3期		ハウレンソウ	5
	2	杵築市	宇留嶋 雄蔵	うるしま ゆうぞう	4期	幹事	水稲、飼料作物	6
	3	杵築市	野田 由紀	のだ ゆき	3期	幹事	葉たばこ、水稲	7
	4	杵築市	村井 百合子	むらい ゆりこ	2期		ハウスみかん、ハウスかぼす	8
	5	杵築市	田畑 修一	たばた しゅういち	2期	地域活動担当	酪農、肉用牛繁殖	9
	6	杵築市	河野 勲	こうの いさお	新規		いちご（ベリーツほか）	10
	7	国東市	上原 隆生	うえはら たかお	7期	副会長	水耕ねぎ	11
	8	国東市	布袋 良信	ほうたい よしのぶ	3期		小ねぎ	12
	9	国東市	谷部 信幸	たにべ のぶゆき	3期		キウイ	13
	10	国東市	土谷 元尚	つちや もとひさ	2期		小ねぎ	14
	11	日出町	井上 隆敬	いのうえ たかゆき	3期		輪ギク	15
中部地区	12	大分市	池永 勝己	いけなが かつみ	6期	会長	きゅうり、トマト	16
	13	大分市	油井 克己	あぶらい かつみ	4期	地域活動担当	いちご（ベリーツ）、ピーマン、直販野菜	17
	14	大分市	甲斐 武範	かい たけのり	2期		大葉	18
	15	臼杵市	堀 長夫	ほり ながお	6期		ピーマン	19
	16	臼杵市	柳井 正二	やない しょうじ	6期		シクラメン、ブーゲンビリア他	20
	17	臼杵市	姫嶋 光夫	ひめしま みつお	5期	幹事	甘藷、ピーマン	21
	18	由布市	大野 晋治	おおの しんじ	5期		菊、水稲、ホオズキ	22
	19	由布市	工藤 貴幸	くどう きみゆき	3期		肉用牛繁殖、水稲	-
	20	由布市	江藤 国子	えとう くにこ	2期		施設野菜、水稲	23
	21	由布市	大津 敬美	おおつ あつみ	2期		いちご（ベリーツ）	24
	22	津久見市	和田 一秀	わだ かずひで	新規		柑橘	25
	南部地区	23	佐伯市	市川 幸子	いちかわ さちこ	3期		スイートピー、ホオズキ
24		佐伯市	戸高 拓志	とだか たくじ	新規		輪ギク、トルコギキョウ、ストック	27
25		佐伯市	黒岩 浩二	くろいわ こうじ	新規		いちご（ベリーツ）、水稲	28
26		佐伯市	黒岩 真由美	くろいわ まゆみ	新規	地域活動担当	トルコギキョウ	29
27		佐伯市	波戸崎 孝	はとざき たかし	新規		ニラ、アスパラガス	30
28		佐伯市	山田 定男	やまだ さだお	新規	幹事	アスパラガス、ニラ、水稲	31
豊肥地区	29	竹田市	佐藤 隆幸	さとう たかゆき	8期		肉用牛繁殖、WCS	32
	30	竹田市	森田 隆二	もりた りゅうじ	5期		肉用牛繁殖、水稲、飼料作物	33
	31	竹田市	植木 美和	うえき みわ	2期	副会長	肉用牛繁殖、水稲	34
	32	竹田市	大石 弥生	おおいし やよい	新規		トマト	35
	33	竹田市	志賀 亮平	しが りょうへい	新規		アルストロメリア、オリエンタルユリなど	36
	34	竹田市	田平 真樹	たひら まさき	新規		トマト、水稲	37
	35	竹田市	渡邊 陽介	わたなべ ようすけ	新規		カボス、水稲、椎茸	38

大分県指導農業士 令和4～5年度認定者一覧表

地区	No	市町村名	氏名	ふりがな	期間	役職	主な経営品目	ページ数
	36	豊後大野市	河野 邦友	かわの くにとも	5期		水稲、麦、大豆	39
	37	豊後大野市	木本 恭輔	きもと きょうすけ	2期		ピーマン	40
	38	豊後大野市	武藤 俊文	むとう としふみ	2期	地域活動担当	肉用牛繁殖、水稲、茶	41
	39	豊後大野市	麻生 竜誠	あそう りゅうせい	新規		ピーマン、甘藷	42
西部 地区	40	日田市	森口 嗣男	もりぐち つぐお	3期	幹事	梨、水稲	43
	41	日田市	平川 修	ひらかわ おさむ	3期		肉用牛繁殖、水稲	44
	42	日田市	高瀬 政寛	たかせま さひろ	3期	地域活動担当	梨、水稲	45
	43	日田市	河津 祐二	かわづ ゆうじ	2期		えのき、梅	46
	44	九重町	佐藤 秀一	さとう しゅういち	5期		トマト、水稲、そば	47
	45	九重町	鷲頭 洋子	わしづ ようこ	4期		肉用牛繁殖、農家レストラン	48
	46	九重町	浅岡 清一	あさおか せいいち	2期	幹事	梨	49
	47	九重町	吉光 巧一	よしみつ こういち	新規		白ねぎ	50
	48	玖珠町	長尾 雪広	ながお ゆきひろ	5期		水稲、ピーマン、肉用牛繁殖	51
	49	玖珠町	神連 克之	じんれん かつゆき	2期		ピーマン	52
	50	玖珠町	野村 幸弘	のむら ゆきひろ	新規		トマト	53
51	玖珠町	藤本 太一	ふじもと たいち	新規		椎茸、ピーマン、水稲	54	
北部 地区	52	中津市	中村 詔治	なかむら しょうじ	8期		水稲、そば	55
	53	中津市	高丸 博	たかまる ひろし	4期	幹事	梨、ぶどう	56
	54	中津市	中島 信男	なかしま のぶお	3期		水稲、大豆	57
	55	中津市	小原 頼子	おはら よりこ	3期		柑橘、栗	58
	56	中津市	辻 康弘	つじ やすひろ	2期		水稲	59
	57	中津市	飯嶋 誠利	いいじま まさとし	新規		ブロッコリー、キュウリ、小ねぎ、その他	60
	58	豊後高田市	仲井 貞一	なかい ていいち	4期	副会長	白ねぎ	61
	59	豊後高田市	片桐 和彦	かたぎり かずひこ	3期		肉用牛肥育（和牛・交雑牛）	62
	60	豊後高田市	和泉 陣	いずみ じん	2期		ぶどう、白ねぎ	63
	61	豊後高田市	土谷 朋子	つちや ともこ	新規	地域活動担当	水稲、飼料用米、WCS、大麦若葉	64
	62	宇佐市	池田 雅彦	いけだ まさひこ	5期	幹事	水稲（WCSを含む）	65
	63	宇佐市	岡崎 憲一郎	おかざき けんいちろう	5期		水稲、麦、大豆、飼料用米	66
	64	宇佐市	岩武 敬	いわたけ たかし	3期		小ねぎ	67
	65	宇佐市	長浜 美由紀	ながはま みゆき	3期	副会長	小ねぎ、水稲、麦、ニンニク、ニラ、白ねぎ	68
66	宇佐市	小野 次信	おの つぎのぶ	2期		ぶどう	69	
67	宇佐市	菅原 維範	すがはら これのり	2期		水稲、麦、WCS、花き、じゃがいも	70	

※指導農業士の方にお話を伺いたい場合は、担当の振興局までお問い合わせください。（P72窓口一覧を参照）

大分県指導農業士会

vol.01
R4~R5認定

こてがわ まこと
小手川 誠 さん



(経営概況)

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| ・営農地 (市町村) | 別府市 |
| ・栽培品目 (経営面積) | ホウレンソウ (70 a)
椎茸 (5万駒) 他 |
| ・営農年数 | 11年 |
| ・販路 | J A 共販、直売 |

農業を志す担い手へのメッセージ

新規就農で飛び込むのは難しいですが、行政や周りの方の助言を大切に。補助事業などの制度は有効に活用してください。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

祖父は農家でしたが、父は会社員で、私も営業職として全国各地を転勤していました。

祖父が70代後半になり、高齢化した事を契機に私が後を継ぐ事に。就農時は、ホウレンソウ40 a、水稻50 a、椎茸10万駒でしたが、私の就農を契機に父も就農を決め、農地を増やし、ホウレンソウを70 aに規模拡大する事に。ところが、ホウレンソウのハウス建設途中で父が亡くなり、祖父までも相次いで亡くなり一時は途方に暮れました。今は、母と妻と3人で頑張っています。

現在行っている農業経営の特徴

ホウレンソウは夏期は高単価でも栽培が難しいのですが、高原の夏でも冷涼な気候を活かした栽培を行っています。

冬は厳しい寒さですが、椎茸の発生には冬の寒さが必要なので地の利を活かした複合経営を行っています。

私が応援できること

ホウレンソウや椎茸の栽培方法については教えることができます。

大分県指導農業士会

vol.02
R4~R5認定

うるしま ゆうぞう 宇留嶋 雄蔵 さん

(経営概況)

- ・ 営農地 (市町村) 杵築市大田
- ・ 栽培品目 (経営面積) 水稻 (45ha)、牧草 (15ha)
アスパラガス (20a)、作業受託 (30ha)
- ・ 従業員数 役員4名 従業員1名
パート登録10名
- ・ 営農年数 39年
- ・ 販路 J A共販、直販、商社



農業を志す担い手へのメッセージ

農業はただやるだけでは大変ですが、知恵を出してがんばれば、面白いです。ぜひ、儲かる農業をめざしてがんばってください。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

就農のきっかけは親がしていたから。でも、今の農業、作ったら売れるわけではありません。作る作物を決めたら、まず販路をきちんと考えることから始めましょう。私は幸い、旅館の社長やシェフ、流通業界に携わる人など以前からの友人を多く持っており、それが今の販路拡大に大きく役立っています。

中山間で条件が悪いところながら、平成31年には(株)URUSHIMA企画を設立、農業法人としての経営をスタートしました。もちろん、地域とのつながりも大切。ヒマワリを植えたり御神輿等の地域行事にも参加しながら農業をしています。

現在行っている農業経営の特徴

- ・ (株)URUSHIMA企画⇒農業 + 林業
個人⇒不動産業
- ・ 農業経営の主力は水稻、売れ筋品種を考えながら5品種栽培
- ・ 売り先はJ Aや商社など、会社のブランド袋を作る等して売り先との信頼関係を築く
- ・ 現在、息子も一緒に農業に携わるように

私が応援できること

基本は親元就農が理想です。あるものを大きく拡大することを考えるのがベストであり近道だと思います。

もちろん、新規就農であっても地域でできるやり方はあります。がんばっている先輩もたくさんいます。いっしょに考えましょう。

大分県指導農業士会

vol.03
R4~R5認定

の だ ゆ き
野田 由紀 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|------------------------|
| ・営農地（市町村） | 杵築市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 葉たばこ（450a）
水稲（225a） |
| ・従業員数 | 臨時雇用15名 |
| ・営農年数 | 36年 |
| ・販路 | JT出荷等 |

農業を志す担い手へのメッセージ

自分だけが苦労してる時もあるかもしれないけど、いつかはなんらかの形で実ることを信じて努力して欲しい。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

結婚した人が農家の長男だったから農業をする事に。初めは、子育ての合間にできる範囲で。子供が小学生になってから言われた仕事をするようになり、葉たばこ150a、水稲100aぐらい。子供から手が離れると私も戦力になったのか、葉たばこ350a、水稲130aに増反。子供が成長し、後継者になった時に最大面積の葉たばこ700a、水稲260aに。親が農業できなくなった時から今の面積の葉たばこ450a、水稲225aで、数年落ち着いています。

現在行っている農業経営の特徴

条件のよいほ場を探して、豊後高田市呉崎の干拓地に葉たばこのほ場があります。近くに乾燥調整施設もあります。JTとの契約栽培です。

家族で気をつけている事は、農作物に病気を出さないこと。葉たばこは使う農薬に限られるからこそ、病気を出さない環境づくりに力を入れています。

私が応援できること

私は非農家で育ち、農業の事は何も知りませんでした。自分だけが苦労してる時もあるかもしれないけど、努力したらいつかはなんらかの形で実ることを信じて大分県の農業に貢献できるように努力して欲しいです。

話を聞くことだったらできます。

大分県指導農業士会

vol.04
R4~R5認定

むらい
村井

ゆりこ
百合子 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|------------------------|
| ・営農地（市町村） | 杵築市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 柑橘（1.2ha）
アボカド（10a） |
| ・営農年数 | 27年 |
| ・販路 | J A 共販 |

農業を志す担い手へのメッセージ

貴方達は日本の農業を担う「金の卵」です。Fight!

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

私の実家も柑橘農家で、若い頃は農家に嫁ぐ気はありませんでした。しかし、自分も就職してサラリーマンの苦勞を目の当たりにしたことで「21世紀は農業の時代だ!」と確認し、結婚、就農しました。当初は義父母も就農していましたが、経営移譲してからは二人で出来る範囲に規模縮小しました。

これまで、価格低迷、重油高騰、台風被害など大変なこともありました。何とか乗り越えてきました。27年前の決心は間違っていないと思います。

現在行っている農業経営の特徴

柑橘専業ですので、施設もの、露地ものを組み合わせて周年出荷できるようにし、労働時間の分散、資金繰りの安定に努めています。

「無理をしない・無駄をしない」を経営理念に、コンパクトな家族農業を実践しています。

私が応援できること

農業人口の激減が危惧される中、農業が身近な存在では無くなってきています。

これから新たに農業を始める方、そして消費者の皆さんへ農業の素晴らしさ、大切さ、楽しさを情報発信していきたいと思っています。

大分県指導農業士会

vol.05
R4~R5認定

たばた しゅういち
田畑 修一 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|-------------------------|
| ・営農地（市町村） | 杵築市山香町 |
| ・栽培品目（経営面積） | 酪農（経産牛50頭）
和牛（母牛24頭） |
| ・営農年数 | 20年 |
| ・販路 | 大分県酪、全農 |

農業を志す担い手へのメッセージ

向き不向きより前向きに。とりあえずやってみよう。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

父の代より酪農を始め、物心ついた頃より将来は酪農家になると決めていた。山香農業高校、筑波大学へ進学し、卒業後すぐに就農した。就農後は自分の無知さを思い知らされることが多く、楽しいとは思えなかった。しかし、8年目頃から自分のしたことがそのまま返ってくるのがわかり、徐々に楽しさが増えた。

消費者の酪農体験の受入れは自分から始めた。牧場をフィールドワークの場として提供し学んでもらう。「牛って温かいんだ」等の感想は嬉しく、ずっと続けていきたい。

現在行っている農業経営の特徴

- ・ 耕畜連携によるWCSの収穫、調整、堆肥の投入
- ・ 粗飼料自給率ほぼ100%
- ・ 雌雄判別精液の活用
- ・ 自家和牛における採卵及び移植
- ・ 酪農教育ファーム認証牧場を活かした教育ファーム活動
- ・ 消費者受入れによる食育活動

私が応援できること

コロナ禍でなければ一緒に飲んで語り明かすが、コロナ禍だからこそ色々な事に挑戦できるのではないかと！

オンラインで語ったり、ZOOM飲み会だったり。

メンタルや技術面でも相談に乗ります。

大分県指導農業士会

vol.06
R4~R5認定

この
河野 いさお
勲 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|----------------------|
| ・営農地（市町村） | 杵築市 |
| ・栽培品目（経営面積） | いちご（21a）
（ベリーツ3a） |
| ・営農年数 | 43年 |
| ・販路 | J A 共販 |

農業を志す担い手へのメッセージ

経営目標を立て、仲間とともに日々の努力と改善を実行することで大きな成果が表れ、農業が面白くなります。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

大学卒業後、J Aへ勤務し、営農指導員として32年間、いちごを指導しながら、父母と共に兼業農家としていちご10aの栽培に取り組み、新技術の導入実証的な役割を担いながら栽培をしてまいりました。40歳で父から経営を継承し、42歳の時、17aに規模拡大しました。平成24年に早期退職し、栽培面積を21aに増して、本格的に栽培を開始しました。現在は、妻と二人でベリーツ3a、さがほのか15a、ゆめのか3aを栽培しています。

現在行っている農業経営の特徴

年間2,000時間以上の作業労働の掛かる作物なので、単収向上と労働力の軽減を目的に、20年前より高設ベンチ栽培に取り組み、自動給液・換気装置を導入。

現在は炭酸ガス施用によるハウス内環境改善や環境にやさしい農業を目指して天敵の導入、高濃度炭酸ガス処理によるハダニ防除を実施しています。

私が応援できること

40年間に渡って得たいちご栽培の知識、技術をお伝えしたいと思います。

また、振興局、農協と連携して、経営支援していきたいと思っています。

大分県指導農業士会

vol.07
R4~R5認定

うえはら たかお
上原 隆生 さん



(経営概況)

- ・営農地（市町村） 国東市・由布市
- ・栽培品目（経営面積） 水耕こねぎ（2ha）
- ・従業員数 30名（パート含む）
- ・営農年数 41年（法人：H19～）
- ・販路 量販店、飲食店、加工業者など

農業を志す担い手へのメッセージ

農業経営者として「自分で時間を作ること」を意識する！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

ハウスみかん栽培を営んでいた父親の背中を見て農業を志した。

かつてハウスみかんに取り組んでいたが、ある時期に『「雇用型農業」がしたい、その為には「周年栽培」が可能な品目に取り組む必要がある』と考えるようになった。

周年栽培ができる品目として水耕こねぎに着目、平成16年に挾間町の水耕こねぎ農家を視察、平成17年に20aで水耕こねぎ栽培を開始した。平成19年法人化、平成23年国庫事業採択、関連会社の設立等により徐々に経営規模拡大を実施し、現在の経営に至る。

現在行っている農業経営の特徴

「播種から販売・流通まで」の一連の流れを確立することで、『ビジネスとしての農業』を実現している。

農業も会社経営である以上、

「①商売人になること」

「②人を育てること」

…を意識し、次代にも継承可能な農業経営を行っている。

私が応援できること

「企業的経営ノウハウ」に関するアドバイスをすることができる。

例えば、異業種との交流、販路開拓、農業経営の法人化、借入等資金の調達方法等、様々な分野における話ができるので、気軽に相談してほしい。

大分県指導農業士会

vol.08
R4~R5認定

ほうたい
布袋 よしのぶ
良信 さん



(経営概況)

- | | |
|--------------|-----------|
| ・営農地 (市町村) | 国東市 |
| ・栽培品目 (経営面積) | 小ねぎ (80a) |
| ・従業員数 | パート12名 |
| ・営農年数 | 16年 |
| ・販路 | J A 共販 |

農業を志す担い手へのメッセージ

なぜ、農業を始めようと思いついたのか？ その志向の原点を大切に貫徹しよう。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

25年間、都市で取引関係の会社を経営していたが、50歳を間近に地方での「晴耕雨読」の田園生活を思い描いていた。各地を打診する中で、就農への対応が懇切だった大分県に焦点を絞り、奨励品目の「小ねぎ栽培」専業農家として出発することになった。

最初は慣れない仕事で何かと戸惑いや苦勞もあったが、県やJ A等の関係機関の指導・支援のおかげで数年内にどうにか経営を安定させることができた。今は、より進歩的な生産性の向上と生活の豊かさを求めて日々、努力を重ねている。

現在行っている農業経営の特徴

大分県小ねぎ生産部会に所属し、土地及び労働生産力を高め、単収、秀品率の向上を念頭に心豊かな農業経営を目標に。仕事の合間に趣味の乗馬や旅行を楽しむ、パートさんと花見や忘年会を実施。数年おきに海外旅行も行って、わが農園の更なる目標である「楽しみのある農業」「夢のある農業」を実践。

私が応援できること

これからの大分県農業を担う青年に微力ながら夢を発信し続けたい。思うに農業は、よしんば苦勞の多い道であっても、かなり自由に働けて、限りない可能性がある。

その為に、青年の持てる力を思う存分に発揮して、その輝く未来を鋭意、実現してもらいたい。

大分県指導農業士会



たにべ のぶゆき
谷部 信幸 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|----------------|
| ・営農地（市町村） | 国東市 |
| ・栽培品目（経営面積） | キウイ（80a）、水稲、椎茸 |
| ・営農年数 | 14年 |
| ・販路 | J A共販 |

農業を志す担い手へのメッセージ

やりがいのある仕事なので夢と希望を持って取り組んでください。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

子供の高校進学をきっかけに国東に戻ることになったため、親が始めたキウイ園をH22年より引継ぎました。引き継いだ当時は、親がキウイの伐採を進めており、面積が約30aになっていたため、10aの規模拡大を行いました。また、4年程前から高齢などを理由に離農する方のキウイ園を継承し、現在では約80aのキウイ園を管理しています。

今年から息子の嫁と一緒に手伝ってくれるようになったため、将来的には半分ほど委譲できればと考えています。加えて、キウイの他にも椎茸、米の栽培を行っています。

現在行っている農業経営の特徴

キウイだけでは、農作業が少ない時期があるため、米、椎茸を栽培し、周年で農業が出来るようにしています。

また、自らの園（キウイ40a、米80a、しいたけ5,000本）の他にキウイ園を40a、米2haを借り受けて管理を行っています。

私が応援できること

国東市は県内一のキウイ産地です。私はキウイ部会の部会長を務めて6年目になり、産地の維持・発展に向けて日々取り組んでいます。

キウイフルーツの栽培に興味がある方は、是非国東市までお越しください。技術指導などのサポートを行いたいと思います。

大分県指導農業士会

vol.10
R4~R5認定

つちやもとひさ
土谷 元尚 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|----------|
| ・営農地（市町村） | 国東市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 小ねぎ（63a） |
| ・営農年数 | 3年 |
| ・販路 | J A 共販 |

農業を志す担い手へのメッセージ

農業経営は大変ですが、自分の目指す姿に向かって、がんばって下さい。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

国東市内の農業法人にて、10年程、こねぎの栽培担当として務めていたが、一身上の都合で退社することに。

退社することを報告した先輩小ねぎ農家から息子さんのハウスを引き継ぐ事を提案され、入植する事を決意。

独立して農業をするのは大変ですが、一歩ずつ前に進めるように努力している毎日です。

現在行っている農業経営の特徴

63aのハウスで土耕小ねぎの栽培をして、J Aへ「味一ねぎ」として出荷しています。

出荷物のほぼ全量をJ Aの共同選果場を利用して調製しているの少ない労力で調製作業ができています。

私が応援できること

十分な答えは出せないかもしれませんが、相談事は聞く事ができます。

大分県指導農業士会

vol.11
R4~R5認定

いのうえ たかゆき
井上 隆敬 さん



(経営概況)

- | | |
|--------------|-----------|
| ・営農地 (市町村) | 日出町 |
| ・栽培品目 (経営面積) | 施設菊 (40a) |
| ・営農年数 | 43年 |
| ・販路 | J A 共販 |

農業を志す担い手へのメッセージ

継続は力なり

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

元々父が専業で施設野菜栽培を行っていたため、農地を守らねばという気持ちがありました。高校卒業後、農業大学校に進学し「これからは食は飽和状態となる」と考え、花を専攻し、卒業後に父の農地を継ぎました。

就農するにあたり「葬儀、墓、仏壇に白菊は必需品である」と考え、葬儀用白菊へ品目転換を行い、経営を開始しました。

就農時はハウス25a + 露地20aでしたが、今では生産安定の面から全てハウスにして菊栽培をしています。

現在行っている農業経営の特徴

国東半島の白菊生産者と広域部会を作り、J Aを通じての年間周年出荷をしています。

また、全体出荷量の3割は価格の決まった相対販売を行っており、経営安定を図っています。

私が応援できること

営農相談賜ります。

大分県指導農業士会

vol.12

R4~R5認定

いけなが かつみ
池永 勝己 さん



(経営概況)

- ・営農地（市町村） 大分市高田
- ・栽培品目（経営面積）
ハウスきゅうり50a、トマト（中玉・ミニ）25a、水稻900a
- ・従業員数 パート含め10名
- ・営農年数 38年
- ・販路 JAおおいた直販（きゅうり、トマト、もち米、水稻）
JAおおいた 水稻（たちはるか）

農業を志す担い手へのメッセージ

社会全体が厳しい状況にありますが、様々な補助金や資金等もあり、農業を志し、経営者になるには今がチャンスです。

若手で農業を志す方を待っています！！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

普通科高校を卒業後、東京の農業者大学校（全寮制）に入学。学生時代を振り返ると、愛知県M式水耕研究所に勉強に行く等、大分市内のみつば農家を目指した時期もありました。また、千葉県の有機農家で葉物類の栽培技術を学び、卒業後、夏場に小松菜、江戸川ベカ菜を大分市で初めて栽培したこともありました。

大学校卒業後は、農業法人等で働くことは考えず、ためらうことなく、親元就農。当時大分市の高田地区は、果菜類から水耕みつば、大葉、にらへの転換期でしたが、大分県の園芸（施設）発祥の地を守り育てるには、先代から栽培してきた土耕でのきゅうり、トマトを、引き続き栽培していくことが重要と考え、これまで栽培を行ってきました。

現在では、高田地区を表現する「輪中」を法人名に掲げ、「輪中の郷」ブランドで産直中心の経営を行っています。

現在行っている農業経営の特徴

- ・地域の畜産農家から堆肥を購入し、資源循環する土耕栽培にこだわっています
- ・地元高田地区の別名「輪中」のブランド名で、きゅうり、トマトを直販中心に周年出荷しています
- ・水田の管理を通して、浸水被害緩和、景観の保全を行い、地元貢献しています
- ・地元小学生に対して、稲作りの体験学習も行っています

私が応援できること

先代から長年栽培を続けてきたきゅうり、トマトの土耕栽培、そして、経営に関してアドバイスが可能です。

大分県指導農業士会

vol.13
R4~R5認定

あぶらい かつみ
油井 克己 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|----------------------------------|
| ・営農地（市町村） | 大分市 |
| ・栽培品目（経営面積） | いちご（30a）（ベリーツ20a）、
その他品目（2ha） |
| ・従業員数 | パート 2名 |
| ・営農年数 | 14年（53歳で就農 現在67歳） |
| ・販路 | いちご、ピーマンはJ A、その他は直売所 |

農業を志す担い手へのメッセージ

まずは色々とチャレンジをしてほしい！
新たなことに挑戦して、継続してやっていけば必ずその先が見えてきます！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

16歳の時から会社勤めをしていました。43歳の頃、奥さんがメインでいちごの栽培を始め、会社勤めをする傍ら、いちごの栽培も行うようになりました。53歳の頃、地元でリース団地の話が持ち上がったことをきっかけに、早期退職して本格的にいちご栽培を開始。

現在、いちごは、ベリーツ（20a）、さがほのか（10a）の2品種を栽培しています。また、直売所向け野菜として、きゅうり、ブロッコリー、ねぎ等も栽培しており、調製作業では、障がい者を受け入れ、農福連携に取り組んでいます。

今後は外国人技能実習生の受け入れも考えています。また、いちごジャムやきゅうりの漬物など、加工品の取り組みも視野に入れており、これからもいろんなことにチャレンジしていく予定です。

現在行っている農業経営の特徴

これまではいちごをメイン品目にして経営を行っていましたが、新たな取組として今年よりJ Aのピーマン部会にも入会しました。

夏はピーマン、冬はいちごの2品目をメイン品目とし、また、直売所向け野菜（きゅうり、ブロッコリー、ねぎ等）を併せて栽培することで、リスク分散をし、周年で収入を上げられるよう、工夫しています。

私が応援できること

会社勤めを辞めて就農し、今年で13年目になります。技術的にはまだまだですが、地元や近所の方々と信頼関係を築きながら、これまで経営を続けてきました。

新しく入ってくる新規就農者は、特に土地探し等で苦労します。地元生産者の強みを活かして、土地に関する情報提供等できたらと考えています。

大分県指導農業士会

vol.14

R4~R5認定

かい たけのり
甲斐 武範 さん

(経営概況)

- ・営農地（市町村） 大分市
- ・栽培品目（経営面積） 大葉（1.5ha）、柑橘類（50a）
- ・従業員数 25名（パート及び外国人技能実習生含む）
- ・営農年数 26年
- ・販路 大葉⇒J A、柑橘類⇒市場



農業を志す担い手へのメッセージ

まずは友達をたくさん作って、気軽に相談できる仲間づくりをしてほしいと思います。また、持続可能な農業をめざしてほしいと思います。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

元々父の代はみかん農家をしていました。父が病気になったのをきっかけに、仕事を退職し、就農。就農3年目（平成8年）から大葉の栽培を始めました。

平成22年にJGAP、平成25年にはグローバルGAPを取得し、安心・安全な大葉の生産に取り組んでいます。当時、グローバルGAPは英語の基準書しかなかったため、取得の際は非常に苦労した思い出があります。

昨年からはJAおおいた大葉部会の部会長も務めています。

今後の取り組みとしては、大葉の調製作業の効率化に向け、調製機械の導入を検討しているところです。

現在行っている農業経営の特徴

収穫、調製作業については分業制を取り入れているのが特徴です。分業制にすることで、それぞれの作業を効率よく、専門的に行えるというメリットがあります。

また、収穫作業では、それぞれの列ごとに収穫する人を定めており、勤務時間を自由に決められるフレックスタイム制を取り入れています。

担い手へのアドバイス

生産・販売をしていく上で、マーケットニーズをしっかりと掴むこと、そして取引先と信頼関係を築くことが非常に重要です。

また、日本は食料輸入国のため、世界の農産物の情勢をチェックすることも重要です。

大分県指導農業士会

vol.15

R4~R5認定

ほり
堀
ながお
長夫 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|---------------|
| ・営農地（市町村） | 臼杵市野津町 |
| ・栽培品目（経営面積） | ピーマン15a、水稻25a |
| ・営農年数 | 53年 |
| ・販路 | JA共販 |

農業を志す担い手へのメッセージ

国、県の制度等、新規就農者にとって条件の良い制度が整っています。農業に興味のある方はぜひ勇気を持って門を叩いてみるのが大事です。指導農業士、市役所、振興局、農協等、相談できる機関もあり、仲間もたくさんいます。まずは相談してみることが大事です。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

三重農業高校を卒業後、畜産と稲作で就農しました。その後、園芸品目へ転換。当初はキャベツや白菜等露地品目をメインに生産していましたが、平成元年にピーマン生産を開始。平成25年からは8年間に渡り、野津町ピーマン生産部会長も務めました。また、若手農業者の育成にも力を入れてきました。

平成27年からは臼杵市ファーマーズスクール就農コーチも務め、研修生の受け入れを積極的に行なってきました。就農後も、新規就農者の相談に気軽に応じています。

現在行っている農業経営の特徴

長年、ピーマン主軸とした経営を行っています。

私が応援できること

新規就農に関する相談等、いつでも相談に来て下さい。やる気のある若手生産者をいつでも応援しています！

大分県指導農業士会

vol.16

R4~R5認定

やない しょうじ
柳井 正二 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|------------|
| ・営農地（市町村） | 臼杵市野津町 |
| ・栽培品目（経営面積） | 花き（鉢花） 60a |
| ・従業員数 | パート 8名 |
| ・営農年数 | 53年 |
| ・販路 | 西日本の花き市場 |

農業を志す担い手へのメッセージ

農業を始めたら意思を貫くことが重要です。結果は後からついてきます。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

鉢花が好きだったため、名古屋で2年間研修を受けたのち、22歳で就農。鉢花生産を開始しました。

18年前からは、後継者の息子も一緒に経営をしています。2年前には法人化も行いました。

現在では、シクラメンをメインに年間10万鉢を出荷しています。年間を通してみると、母の日と年末の需要期が一番の出荷ピーク時期となっております。

今後は新たな事業として、いちごの生産も始める予定です。

現在行っている農業経営の特徴

『技術力・販売力・経営力』をモットーにして、経営を行っています。

年間の生産・販売計画を立て、60aのハウスを最大限活用できるよう、ローテーションをスムーズに行い、ハウスに空きが出ないよう工夫して生産を行っています。

また、市場ニーズを的確にとらえ、品質の良いものを生産できるよう、努めています。

担い手へのアドバイス

何かあれば、ぜひ、相談に来てください。

朝早くから夜遅くまで仕事に打ち込む、休む時は思い切って休むなど、メリハリをつけることが大切です。

また、農家は品質の良いものを作らないとダメ。そのためには努力し、手をかけることが重要です。

vol.17

R4~R5認定

大分県指導農業士会

ひめしま みつお
姫嶋 光夫 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|-------------------|
| ・営農地（市町村） | 臼杵市野津町 |
| ・栽培品目（経営面積） | ピーマン（14a）、甘藷（70a） |
| ・従業員数 | 3名 |
| ・営農年数 | 26年 |
| ・販路 | J A出荷 |

農業を志す担い手へのメッセージ

基本を守り、失敗を恐れずに行動しよう。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

私はもともとサラリーマン（土木技師）で、25年間会社員をして働いていました。大手企業で管理職までしていましたが、子供が大学へ入学するにあたって、今の給料では生活が成り立たないと分かりました。当時葉たばこは高収入で、家族経営でも十分安定した収入があったため就農しました。

その後、葉たばこは健康に悪いと世間で言われ、規制も厳しくなり、それに併せるようにたばこ産業より廃作奨励の話がありました。それに応じてピーマンと甘藷栽培を始める事になりました。現在は、ファーマーズスクールの就農コーチとして、研修生の指導も行っています。

現在行っている農業経営の特徴

- ・ピーマンは、単収25tを目標に、肥料の管理や病害虫防除を計画的に行っています。
- ・甘藷は、単収4tを目標にして、植付時期によって植付間隔を変えています。

私が応援できること

- ・ピーマン、甘藷とも目標収量を達成できているので、自分の行っている作業手順や管理を研修生に指導しています。
- ・作業や生活においては、“目配、気配、心配り”を私自身の行動で指導しています。

大分県指導農業士会

vol.18
R4~R5認定

おおの しんじ
大野 晋治 さん



(経営概況)

- ・営農地（市町村） 由布市
- ・栽培品目（経営面積） 菊20a、水稻50a、その他
- ・従業員数 以前は雇用してたが、現在はなし
- ・営農年数 43年（昭和55年～）
- ・販路 別府花市場、大分大同、直売所

農業を志す担い手へのメッセージ

農家が高齢化しているため、これから農業を志すには良いタイミングと思います。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

元々両親は椎茸を主体に生産を行っており、物心つく頃から『後継ぎ』と言われてきました。いとこが花きの生産をしていたため、自分も花きの生産を志すようになりました。高校は三重農業高校に進学。卒業後は種苗会社で働いていましたが、22歳で就農。最初は露地で菊の生産を始めました。

その後はハウスでも栽培を開始。現在では、菊を中心とした、少量多品目で生産を行っています。

現在行っている農業経営の特徴

菊をメインに生産を行っており、お盆、お彼岸、お正月が一番の出荷ピークになります。

その他にも、ホオズキ、シャクヤク、グラジオラス、カーネーション、フリージア等少量多品目で年間を通して生産を行っています。

担い手へのメッセージ

農業は天候に左右され、何があるか分かりません。教科書どおりにいかないことも多いですが、試行錯誤して、いいモノができた時は達成感を味わうことができます。

また、休日を設定しないと体もダメになってしまうので、仕事の時はしっかり働き、休日の時はしっかり休んで、遊ぶなど、メリハリをつけることが重要です。

大分県指導農業士会

vol.20

R4~R5認定

えとう くにこ
江藤 国子さん

(経営概況)

- ・営農地(市町村) 由布市湯布院町
- ・栽培品目(経営面積)
水稲(4ha)、トマト、なす等の少量多品目栽(2.2ha)
- ・従業員数 常時雇用(1名)、不定期雇用(4名)
- ・営農年数 江藤農園は代々続いているが、
私自身は15年くらい
- ・販路
町内の旅館、マックスバリュ、フードウェイ等



(一番右が私です!)

農業を志す担い手へのメッセージ

楽しいけど、精神力と体力を常に試されます。農業はコツコツとが重要です。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

公務員をしていましたが、どうしても農家になりたくて、15年前に農家の嫁に転職しました。もともと旅館へ野菜を販売している農家でしたが、

人手が足りていない状況だったため、すぐに青色申告を任せられ、経営状況をすべて把握。規模拡大したり、販路開拓したりと、失敗することもありますがとてもやりがいを感じます。

コロナの影響で通常とは違いますが、新しい販路も見つかり、何とか乗り越えていきたいと思います。

現在行っている農業経営の特徴

湯布院町内の旅館を主に、米や野菜を販売しています。また、「ゆふいんマルシェ」というグループをつくり、マックスバリュ(湯布院店、別店、上原店)やフードウェイ(大分駅南店)にも出荷しています。

私が応援できること

農家の嫁として、そつなく生きていく術を教えてあげたいけど、まだまだ試行錯誤中なので、悩みがあったら聞いてあげることくらいかな。あと、販路を開拓するのも得意かな。

見かけたら気軽に声を掛けてください!

大分県指導農業士会

vol.21
R4~R5認定

おおつ あつみ
大津 敬美 さん



(経営概況)

- ・営農地（市町村） 由布市挾間町
- ・栽培品目（経営面積） いちご（42a）
- ・従業員数 7名（本人、夫、義母、パート4名）
- ・営農年数 11年
- ・販路 J A出荷

農業を志す担い手へのメッセージ

チャレンジ！大分で一緒に農業を頑張りましょう！！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

いちご農家の主人と結婚。長女の育児中、働きに行くより農家を手伝った方がいいのではないかと考え、就農。最初は、パック詰めフィルム張りから始め、少しずつハウスでの作業も行うようになりました。義父の病気により、主人に経営移譲してから、パートを雇用するようになり、経理や労務などの事務処理を任されるようにもなりました。

家族労働から雇用型に切り替えることで、規模拡大も可能になり、令和2年度には27aから42aに規模拡大しました。

現在行っている農業経営の特徴

主な経営、運営は主人が行い、私はサポートをしています。

サポート役ですが、主人は相談してくれるので、ほとんどのことは2人で決めています。

私が応援できること

技術的な面はまだまだ勉強中ですが、困ったことがあったらお話を聞くことはできます。

誰かに話すことで、心配が少なくなったり、もしかしたら解決できるかもしれません。一人で悩まないようにしましょう！

大分県指導農業士会

vol.22

R4~R5認定

わだ かずひで
和田 一秀 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|-----------------|
| ・営農地（市町村） | 津久見市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 露地柑橘95a、施設柑橘50a |
| ・従業員数 | 不定期雇用2名 |
| ・営農年数 | 40年 |
| ・販路 | J A共販 |

農業を志す担い手へのメッセージ

農業は毎年反省の連続ですが、面白いです。やり方次第です！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

農家の長男に生まれ、高校卒業後6年間会社員をしていました。その後津久見に帰り、兼業農家として柑橘栽培をしていましたが、50歳の時に施設柑橘を主として専業農家になりました。今では、露地と施設で多品種を組み合わせた経営を行っています。

現在行っている農業経営の特徴

露地と施設で7品種（デコポン、サンクイーン、サンセレブ、カボス、温州等）を栽培しています。多品種を組み合わせ、作型を分散させることで、年間を通した出荷ができるようにしています。

私が応援できること

近年は異常気象等あり、農業は毎年条件が違います。就農してからこれまで、たくさんの失敗も経験してきましたので、何でも相談してください。

大分県指導農業士会

vol.23

R4~R5認定

いちかわ さちこ
市川 幸子 さん



(経営概況)

- ・営農地（市町村） 佐伯市
- ・栽培品目（経営面積）
スイートピー88a ホオズキ70a 杉苗20,000本
- ・従業員数 2名
- ・営農年数 43年
- ・販路 個人出荷、関東方面

農業を志す担い手へのメッセージ

初期経費は少なく、品質の良いものを作り、軌道に乗るまでは寝る間もなくがんばってほしい。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

しいたけ栽培をしていましたが、輸入品が増えて価格が低下してきたので、何か良いものはないかとかすみ草、センリョウ、スターチス、トルコギキョウと試行錯誤の繰り返しでした。近所でホオズキを栽培していたのでホオズキを栽培、それまで短いホオズキでしたが、1年目で良い品物ができました。ある日、日南に研修に行ったとき、ハウスイ面に咲いていたスイートピーを見た瞬間恋をしてしまいました。大分県には指導者もなく、周りからは反対されましたが、大分県最初のスイートピー農家としてスタートしました。

いきづまった時は、日南まで5、6時間かけて行き、試行錯誤を繰り返しました。自分の作った品物は自分で売りたいと思い、平成10年に農協から独立しました。販路も少なく大変でした。良い品物、どこの産地にもまけない品物をと頑張ってきました。ホオズキは相対取引、スイートピーは、宇目に『ととろ』という地名があり、それにちなんでトロシリーズとして関東中心に出荷、輸出は、韓国、オランダ、フランスなどにしています。

現在行っている農業経営の特徴

常に良い品質を作るように買い手の欲しがる品質を。ホオズキは毎年種を選抜して苗を作る。手を抜かない、毎年初心に戻る。

雇用、感謝の気持ち。雇用がないと絶対できないので、楽しく働けるよう環境作り。

私が応援できること

農業はやり方次第では儲かります。軌道に乗るまでは頑張ってもらいたい。きっと楽しい農業が待っています。

夢も希望もあると思いますが、私で役に立つことがあればいつでも応援します。頑張ってください。

大分県指導農業士会

vol.24
R4~R5認定

とだか たくじ
戸高 拓志 さん



(経営概況)

- ・営農地（市町村） 佐伯市
- ・栽培品目（経営面積） 菊（140a） その他4品目（50a）
- ・従業員数 5人
- ・営農年数 18年
- ・販路 J A 共販、個選

農業を志す担い手へのメッセージ

農業は畑があれば、なにを作っても良いです。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

結婚を機に親元に就農しました。

3年後に経営移譲しました。

これまでは、輪菊を主に栽培をしていましたが、コロナウイルスが流行してから輪菊だけでなく、ホオズキ、トルコギキョウなども栽培を始めました。

現在行っている農業経営の特徴

専作から、多角的にやってみてます。

私が応援できること

農業を始めた方と悩みを一緒に考えることくらいです。

大分県指導農業士会

vol.25
R4~R5認定

くろいわ こうじ
黒岩 浩二 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|----------|
| ・営農地（市町村） | 佐伯市 |
| ・栽培品目（経営面積） | いちご（34a） |
| ・従業員数 | パート2名 |
| ・営農年数 | 40年 |
| ・販路 | J A共販 |

農業を志す担い手へのメッセージ

楽しい農業するには、1つ1つコツコツと積み上げていくことが大切だと思います。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

親の代から農業を営んでいて、その経営を継ぐことになり40年弱です。
当初は椎茸・米・いちごの3品目で、椎茸が主でしたが、今では苺の高設栽培を主体とした経営を行っています。

現在行っている農業経営の特徴

より良いものをたくさん作ることを目標にし、県・J Aの指導のもとに、周りの農家との情報を収集し、自分の経営に生かしている。

私が応援できること

今までに、いろんな失敗をしてきましたので、その経験を伝えること。

大分県指導農業士会

vol.26

R4~R5認定

くろいわ まゆみ
黒岩 真由美さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|--------------|
| ・営農地（市町村） | 佐伯市 |
| ・栽培品目（経営面積） | トルコギキョウ（45a） |
| ・従業員数 | 夫婦、繁忙期2人 |
| ・営農年数 | 30年 |
| ・販路 | JA共販（大阪、東京） |

農業を志す担い手へのメッセージ

不安だけが渦巻く日もあるでしょう。だけど大丈夫！感性と情報のセンサーをピカピカに磨いて勇気をもって前をむいて歩いてゆきましょう。そんなあなたの姿は、とても美しいはず！地の底から這い上がるようにあたしたちはやってきたよ。困ったときは、いつでもおいで！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

留夫君の夢だった「鉄骨ハウスで花を作る！」に、背中を押されて就農しました。けれど、バラ栽培は平成14年に頓挫してしまいました。それからは、地の底を這いずり回るように試行錯誤の繰返しでした。そんな中で知り合いの方々からの援助は私たちを強くしてくれました。

JA、振興局、市役所の情報はとても大切でした。トルコギキョウに転換してから、現在に至るまで紆余曲折あったものの、経営は続けられています。芯がぶれなかった賜かな。夫婦二人いたからだよね。夢を追うことは甘くない！けれど夢があるから頑張れる！

現在行っている農業経営の特徴

品種選定は経営が成り立つように決める。
土壌消毒はキチンと！畝の隅々までキチンとする。
花と会話。土の組織を想像する。
振興局と決算の数字を見ながらする。花1本育つ間の金銭感覚は大事！

私が応援できること

毎年、課題をもらう花づくりですが、それぞれの段階で相談は受け付けますよ。一人で悩むより誰かに話すことで何かが広がりますから。

私たちも若い人たちにエネルギーを頂きたいわ。「今忙しい？ちょっと寄っていい？」
電話をくださいな。おいしい？
コーヒーを用意しますよ！

大分県指導農業士会

vol.27
R4~R5認定

はとぎ たかし
波戸崎 孝 さん



(経営概況)

- ・営農地（市町村） 佐伯市
- ・栽培品目（経営面積）
アスパラガス（12.6a）ニラ（21a）
- ・従業員数 私と妻
- ・営農年数 6年
- ・販路 J A 共販

農業を志す担い手へのメッセージ

日々コツコツ積み上げることに勝るものはありません。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

高校卒業後ずっと福岡で飲食の仕事をしていましたが、長男という思いがずっとあり、いつか佐伯に戻って両親を見守るのだと決めていました。子が生まれ小学校入学のタイミングでUターンして農業の道へ。前職の料理人から生産者への切り替えは自分の中ではとてもスムーズでした。サービス業から自身で生産管理をコントロールする農業は大変なことも多々ありますが、とても面白く充実した日々を過ごしています。以前は家族と一緒に過ごす時間が取れませんでした。農業を始めたことで子供の成長をしっかりとサポートできています。

現在行っている農業経営の特徴

妻と2人で管理できる最適な方法を模索中ですが就農6年目でよい形が出来つつあります。いかに収穫量を向上させられるか。高い品質を維持できるか。ニラを主品目として効率のよい栽培モデルを作り上げていきます。

私が応援できること

実家が非農家でも大丈夫ですよ。日々の努力と研究心を心がけてください。豊かで楽しい生活が農業で実現できます。

相談事はいつでもいらして下さい。

出来るかぎりの応援をします。

大分県指導農業士会

vol.28
R4~R5認定

やまだ さだお
山田 定男 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| ・営農地（市町村） | 佐伯市 |
| ・栽培品目（経営面積） | アスパラガス（10a）、ニラ（80a）、水稲（1ha） |
| ・従業員数 | 家族経営 |
| ・営農年数 | 21年 |
| ・販路 | J A 共販 |

農業を志す担い手へのメッセージ

農業分野程、多くの友達を作る分野はないと思います。多くの友達を作り農業関係・人間関係を学んでほしいと思います。また、多くの失敗をし、反省し成功してください。一日一日目標をもって挑戦して下さい。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

両親が病気がちになったのをきっかけに、退職し就農しました。実家も農業とは縁のない家系だったものですから農地・品目も手探り状態でした。就農当初は、アスパラガスだけでした。アスパラガス先進地は殆ど視察し北海道には面積的には劣るが品質と面積では九州一になるつもりでがんばってきました。50aで始めましたが、子供が脱サラし就農した関係や集落の水稲農家が就農した関係もあり、今はアスパラガス・ニラ・水稲の栽培を行っています。

現在行っている農業経営の特徴

アスパラガス・水稲については、収穫、調整は私の担当で、出荷はそのままJ A出荷しています。

ニラについては、調整機を導入し子供夫婦が担当しています。

私が応援できること

以前は、ホワイトアスパラガスを栽培し、レストラン・旅館・スーパーマーケットに販売をしていました。その時に感じたことは、相手のニーズにあった物づくりをし、信頼関係を築くことの大切さでした。そうした経験に基づきアドバイスをしていくことが私にできることだと思っています。



大分県指導農業士会

さとう たかゆき
佐藤 隆幸 さん



(経営概況)	
・営農地(市町村)	竹田市久住町
・栽培品目(経営面積)	黒毛和種繁殖44頭、稲葉牧場(共有)、 採草50ha、放牧40ha、稲WCS4.5ha、牧草3.5ha
・従業員数	2名(本人、妻)
・営農年数	41年
・販路	J A

農業を志す担い手へのメッセージ

夢を持って (理想、目標)

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

農家の長男として生まれ職業選択の自由もなく家を継ぎ、20代半ばから牧場のオペレーターとして採草作業に従事。一方冬季には地元の酒蔵で厳格な徒弟制度の中、技術者として身を立てるべく早朝より夜中まで、従業員としての立場に疑問を抱きながらも20年働いた。父の死を境に畜産に本格的に取り組んだ結果、時流に乗り利益を得るようになった。

- ### 現在行っている農業経営の特徴
- ・ 共有牧場の牧草利用
 - ・ 動物(いきもの)相手のため休み無し
現在久住地域肉用牛定休型ヘルパー組合に加入
 - ・ 早期母子分離、舎飼中心、耕種農家と耕畜連携
 - ・ その他: 牧場管理のため、春は都市よりボランティアを募り200haの野焼きを行い、異業種交流を深めて25年になる。
 - ・ ヘルパー組合加入促進に努め、九州沖縄各県に呼びかけヘルパーサミットを行う。

私が応援できること

本当にやる気のある人は、いかなる相談も受けます。

大分県指導農業士会

vol.30
R4~R5認定

もりた りゅうじ
森田 隆二 さん



(経営概況)

- ・営農地（市町村） 竹田市直入町
- ・栽培品目（経営面積） 黒毛和種繁殖38頭、水稻2.1ha、WCS3.5ha、飼料作物9ha
- ・従業員数 3名（本人、妻、息子）
- ・営農年数 43年
- ・販路 J A、直販

農業を志す担い手へのメッセージ

自分の経営を着実に少しずつ固めていくことと、併せて地域内での生産者や住民との相互の良好な関係を築くことが重要です。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

就農は昭和55年で、当初は建設業との兼業でしたが、平成11年から繁殖牛経営専業となり規模拡大を行ってきました。

また、地域の水田農業維持発展のため、平成22年に発足した集落営農法人「神水の郷ゆい」にも、役員やオペレーターとして参加しています。そして、竹田市認定農業者組織の直入支部長もつとめています。

現在行っている農業経営の特徴

- ・繁殖牛専業経営。
- ・自給飼料確保のために稲WCSや飼料作付けに積極的に取り組んでいます。

私が応援できること

繁殖牛経営について、または中山間地域の飼料作や水稻作(集落営農含む)についてアドバイスができるかと思います。

大分県指導農業士会

vol.31

R4~R5認定

うえき みわ
植木 美和 さん



(経営概況)

- ・営農地（市町村） 竹田市久住町
- ・栽培品目（経営面積）
黒毛和種子牛繁殖牛100頭、水稻1.6ha
- ・従業員数 4名(夫、本人、夫の母、パート)
- ・営農年数 5年
- ・販路 県内外肥育農家

農業を志す担い手へのメッセージ

人とのつながりを大切にして、楽しみながら共に頑張りましょう。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

2005年に結婚し、愛知県から久住に来ました。

その年に、夫婦で大分県畜産試験場（現大分県農林水産研究指導センター畜産研究部）での1年間の研修に入りました。終了後、旦那の実家に親元就農しました。3人の子供の妊娠・出産・子育てをしながら働きました。

2017年に経営移譲を受け、現在に至ります。

現在行っている農業経営の特徴

- ・飼養している繁殖牛に人工授精をして、産まれてくる子牛を超早期母子分離で育てています
- ・代用乳自動溶解装置、哺乳口ボットを利用し、作業の効率化を図っています
- ・生後5ヶ月以降は農協運営のキャトルセンターに預け、市場出荷まで委託しています。

私が応援できること

飼養頭数が多いことで、良いことも悪いこともたくさん経験しました。周産期の管理、分娩介助の手技、子牛の初期の管理など、自分たちが身につけたことはどんなことでも教えます。

農業を続けていくのに必要不可欠なものは「仲間」だと考えています。新規就農の方が人のつながりを得られるような仲間作りの機会をたくさん作っていきたいと思います。

大分県指導農業士会

vol.32
R4~R5認定

おいしい やよい
大石 弥生 さん



(経営概況)

- ・営農地（市町村） 竹田市久住町
- ・栽培品目（経営面積） 大玉トマト30a
- ・従業員数 2名（本人、父）、パート4名
- ・営農年数 7年
- ・販路 JA

農業を志す担い手へのメッセージ

毎日充実した日々が待っています。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

地元竹田市のとまと学校で、ゼロからトマト栽培について2年間学びました。

その後久住町で就農して、現在に至ります。

現在行っている農業経営の特徴

作業者に女性が多いこともあり可能な限り軽労化に取り組んでいます。

私が応援できること

新規就農者・大玉トマト栽培者の悩みを聞きます。

大分県指導農業士会

vol.33
R4~R5認定

しが りょうへい
志賀 亮平さん



(経営概況)

- ・営農地（市町村） 竹田市久住町
- ・栽培品目（経営面積）
切花70a（アルストロメリア、ユリ、ランキムス等）
- ・従業員数 2名（本人、妻）、パート3名
- ・営農年数 16年
- ・販路 J A

農業を志す担い手へのメッセージ

世の中、転職ブームですが、継続することを大事に！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

家業の切花農家を継ぐため、27歳で帰郷しアルストロメリア・ユリを中心に、施設栽培を行ってきた。段階的に施設の集約、環境制御対応や新たな品目を導入し、現在ほぼ周年で出荷している。

現在行っている農業経営の特徴

九州では少ない高冷地の強みを活かした品目・作型で市場ニーズに応じられるようにしている。

私が応援できること

まず、私自身がやっている事が正しく最良であるとは思っていないので、そのまま伝えることが良いとは言えません。が、私の経験則から皆さんが、より良い方法を探す手伝いができるかもしれません。

大分県指導農業士会

vol.34

R4~R5認定

たびら
田平 まさき
真樹 さん



(経営概況)

- ・営農地（市町村） 竹田市荻町
- ・栽培品目（経営面積）
トマト80a、WCS1.7ha、水稻29a
- ・従業員数 8名
- ・営農年数 21年
- ・販路 JA

農業を志す担い手へのメッセージ

最初は、いろいろ苦労すると思いますが、続けることでやりがいのある仕事になります。

共に大分の農業を盛り上げましょう。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

もともと家がトマト栽培をしており、小さい頃からトマトにふれていたということもあり、高校卒業後、農業の専門学校に行き、親元就農しました。

栽培規模も少しずつ増やしてきて現在に至ります。

現在行っている農業経営の特徴

トマトはすべてJAに出荷しています。

その中で赤採りトマトで出荷したり、JGAPを取得して付加価値をつけ、所得向上につなげています。

私が応援できること

まだまだ農業に対して未熟者ですが、今ある知識は教えていきたいと思います。

また、人との繋がりも重要なので、できる限り繋げていきたいです。

大分県指導農業士会

vol.35
R4~R5認定

わたなべ
渡邊 ようすけ
陽介 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|----------------------------------|
| ・営農地（市町村） | 竹田市 |
| ・栽培品目（経営面積） | カボス87a（うちハウス37a）、
椎茸3万駒、水稻73a |
| ・従業員数 | 2名（本人、妻）
パート 60日/年 |
| ・営農年数 | 11年 |
| ・販路 | J A、椎茸農協 |

農業を志す担い手へのメッセージ

日々の農作業を楽しみながら、大分の農業を元気にしましょう。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

私の実家はカボス農家でした。祖父が栽培を始め、父が経営を継ぎ、ハウス・貯蔵庫などの施設を整備して現在の経営に近い形となります。

私は福岡の大学から親元就農しました。高校は普通科、大学は商学部と農業を志してはいませんでした。大学生の時に初めて家業の繁忙期の仕事を一通り経験してみて、これまで感じたことがないような充実感がありました。それから親に頼み込んで就農に致します。

現在行っている農業経営の特徴

カボスはハウスでビニール被覆、加温をすることで促成栽培をして作業期間を長くすることで生産量の最大化を目指しています。椎茸、水稻は主力品目のカボス栽培への影響があまり出ない範囲内です。

私が応援できること

カボス栽培に関すること。今現在、竹田かぼす生産出荷組合の事務局をしています。生産者としてはまだまだ未熟ですが、部会として力になれるかと思っています。

大分県指導農業士会

vol.36

R4~R5認定

かわの
河野 くにとも
邦友 さん

(経営概況)

- ・ 営農地 (市町村) 豊後大野市清川町
- ・ 栽培品目 (経営面積)
(農) おはる 稲8ha、大豆6ha、麦8ha
個人でサトイモ40a
- ・ 従業員数 (農) おはる構成員10名
- ・ 営農年数 法人設立9年目
- ・ 販路 J A



農業を志す担い手へのメッセージ

- ・ 一歩踏み出す勇氣
- ・ 日々勉強

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

私の父が年々リタイヤする地区の水田を補完していました。その父も高齢になり、約10年前就農することになりました。時期を同じくして、地区で法人化の話が持ち上がり、将来を見据えて法人化することを決定しました。比較的條件は良く耕作放棄地はありません。法人化をきっかけに隣の地区からも耕作を依頼され、現在3haに増加しています。

地区内は転作に大豆を栽培しており、毎年ブロックローテーションしています。近隣の法人とも連携していて、作業の受託や人的交流も行っています。今後は園芸品目にも取り組もうと思っています。

現在行っている農業経営の特徴

- ・ 米7ha：J Aを通じて相対取引しています。地元の幼稚園にも納品しています。約30aの香りもち米を栽培しており道の駅で販売しています。
- ・ 麦8ha：大分県産麦焼酎「西の星」の原料にも使われている二条大麦「ニシノホシ」を栽培しており、飲み会では進んで「西の星」を飲むようにしています。
- ・ 大豆5ha：大分県産小粒納豆の原料「すずおとめ」を栽培しており、大分の業者(二豊フーズ)の納豆を食べるようにしています。
- ・ サトイモ40a：大和いもです。出荷できないものは「おでん」に入れています。我が家のおでんはサトイモの割合が多いです。

私が応援できること

私は若い頃からスポーツ、祭り、飲み会が好きで、地区の行事に参加してきました。このことで地区の人とも交流ができ、かわいがってもらいました。農業に対する情報も聞きやすくなるので、できる範囲で地区の人と密接になることを勧めます。

大分県指導農業士会

vol.37
R4~R5認定

きもと きょうすけ
木本 恭輔 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|--------------|
| ・営農地（市町村） | 豊後大野市三重町 |
| ・栽培品目（経営面積） | 夏秋ピーマン（2.4a） |
| ・従業員数 | 2名（本人、妻） |
| ・営農年数 | 11年 |
| ・販路 | J A→市場 |

農業を志す担い手へのメッセージ

就農に迷っているのなら、まず相談を！！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

就農のきっかけは、ハローワークで見た就農研修のポスターでした。リーマンショックで会社の業績が落ち込みリストラされ無職となり、ハローワーク通いの中で職業訓練で「農業をやりませんか！！」のパンフレットが目飛び込みました。失業保険を受給しながら農業を学ぶことができるというものでした。

この研修で「農業できるかも！！」を実感した楽しい研修でした。1年半の研修中に研修先の県農業大学校を通じて県や市、農協などと連絡を取ることができ、そこから独立起業の援助をもらいました。農地や住宅、資金の相談、施設の補助申請など、研修中にほとんど決めることができました。

現在の経営ですが、研修中に作成した経営計画が今でもベースとなっています。最初の計画が大切だとこの頃感じています。

現在行っている農業経営の特徴

- ・単一品目に集中していること
- ・出荷シーズンいっぱい（休みなし）で、とにかく量を出すこと
- ・スケジュールを立てて、それに沿った収穫・出荷を行うこと
- ・管理作業（主に防除作業）もスケジュール化して行うこと
- ・作業の流れを毎日同じにして、無駄を省くこと

私が応援できること

夏秋ピーマンでの就農を考えているのなら、相談に乗ることができます。実際の研修（1年間）も行っています。

大分県指導農業士会

vol.38
R4~R5認定

むとう としふみ
武藤 俊文さん



(経営概況)

- ・営農地（市町村） 豊後大野市千歳町
- ・栽培品目（経営面積） 黒毛和種繁殖71頭、稲WCS7.4ha、水稻14ha
- ・従業員数 3名（本人、妻、父親）
- ・営農年数 26年
- ・販路 JA

農業を志す担い手へのメッセージ

すぐに結果を求めるのではなく、長い月日をかけて周りから信頼される農業をめざしてほしい。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

大学の時一ヶ月ほど農業体験で学び、家で農業をやってみたくて思いました。大学で人工授精、大型特殊の免許を取り、家で自分でできる作業をしてきました。年間出荷頭数を増やすため一年一産を目指し、ボディーコンディション等の管理をし、哺乳ロボット導入を進めて取り組んできました。

狂牛病、口蹄疫等ありましたが、水稻複合経営でなんとか現在まで続けてきました。現在は規模を維持していますが、後継者が戻って経営できるよう整えています。時代に合った農業をこれからも目指していきます。

現在行っている農業経営の特徴

- ・自給飼料を主体とする
- ・水田や畑には堆肥を還元し循環させている
- ・深夜の分娩を避けるため、日中分娩に取り組んでいる
- ・現在、監視カメラを導入し、外出中でも分娩室を見ている
- ・水稻は父親主体、牛は私で、分担して作業している

私が応援できること

就農してまだ25年ですが、私が経験してきたことなら伝え教えることができます。失敗していろいろなことを学び、考え、対策していいものを作っていけると思っています。

私も地域の先輩たちに相談にのってもらったり、若い後継者たちとの交流も大切にしています。1人でいろいろ悩まず、まずは行動してみてください。必ず自分に合ったことができると信じて農業を！！

大分県指導農業士会

vol.39

R4~R5認定

あそう りゅうせい
麻生 竜誠 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|----------------|
| ・営農地（市町村） | 豊後大野市緒方町 |
| ・栽培品目（経営面積） | 甘藷260a、ピーマン26a |
| ・従業員数 | 3名 |
| ・営農年数 | 8年 |
| ・販路 | J A |

農業を志す担い手へのメッセージ

農業は思ったより厳しいです。

地域に根ざして、若いうちはベテラン農家や先輩農家を頼ることが重要です。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

平成25年より豊後大野市新規就農者技術習得研修施設「インキュベーションファーム」で2年間のピーマン栽培・経営についての研修を受けた後、平成27年1月より豊後大野市内でピーマンを15a、甘藷を20aの経営を開始しました。

令和2年度末に「FROGS FARM 株式会社」を設立し、家族経営から企業的経営への転換を図り、適正規模の維持を念頭に置きながら、さらなる規模拡大を進めています。

現在行っている農業経営の特徴

農業機械等の導入による省力化や栽培管理を任せられる人材の確保・育成を通じて、経営規模と反収の両立を図っています。

私が応援できること

農業の楽しさ、苦しさを経験してきました。

甘藷栽培等の経験・技術を伝えていきたいと思えます。

また、困ったことがあれば、何でも相談してください。

大分県指導農業士会



もりぐち つぐお
森口 嗣男 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|-------------|
| ・営農地（市町村） | 日田市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 梨140a、水稲50a |
| ・営農年数 | 32年 |
| ・販路 | J A |

農業を志す担い手へのメッセージ

新技術の導入にはリスクも伴うが、チャレンジしなければ何も得るものはない。経験を重ねていっても、常にチャレンジして行って欲しい！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・ J A 勤務後、親元就農して規模拡大
- ・ 就農時、園地は中間山間地に位置していたが、将来の作業性、後継者のためにも平坦地で拡大
- ・ 作業をできるだけ機械化できるように、作業しやすい園地づくりに努めている
- ・ 産地の発展には新技術による刺激が必要

現在行っている農業経営の特徴

- ・ 大苗育苗と流線型仕立てによる早期成園化技術を早くから実践
- ・ 大苗生産も行い、部会員の改植や新植に活用されている
- ・ 新技術（早期成園化技術等）の普及により、産地全体の生産性向上を目指している

私が応援できること

- ・ 新規就農者の経営確立のためサポートします
- ・ 将来の作業性を考慮した園地づくり等について、実践に基づいたアドバイスができます
- ・ 自分の経営だけでなく、産地の発展を考えることの大切さを伝えていきたいです

大分県指導農業士会

vol.41
R4~R5認定

ひらかわ おさむ
平川 修 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|--------------|
| ・営農地（市町村） | 日田市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 繁殖牛50頭、水稲60a |
| ・営農年数 | 21年 |
| ・販路 | J A |

農業を志す担い手へのメッセージ

自分の経営に責任を持つこと。信用が第一。
生産性の向上を常に目指し、ゆとりある経営を目指して下さい。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・家業であった畜産（繁殖牛＋養豚）を手伝うとともに、J A 営農指導員としても勤務
- ・繁殖牛経営に一本化するとともにJ A を退職
- ・繁殖牛20頭からスタートし現在50頭規模
- ・現在は日田地域肉用牛定休型ヘルパーの代表も務めている

現在行っている農業経営の特徴

(儲かる経営の実践)

繁殖牛の分娩事故低減等のほか、
月次決算による資金シミュレーションを実践。

(省力化・家族にやさしい経営)

作業動線を考慮した牛舎構造、
定休型ヘルパー活用により休日を
確保し、ゆとりある経営を実践。

私が応援できること

責任ある経営者として、
これまでの実践を基にした
色々なアドバイスをさせて
頂ければ幸いです。

共に儲かる、ゆとりある
経営を目指しましょう。

大分県指導農業士会

vol.42
R4~R5認定

たかせ まさひろ
高瀬 政寛 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|------------|
| ・営農地（市町村） | 日田市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 梨84a、水稲92a |
| ・営農年数 | 36年 |
| ・販路 | JA等 |

農業を志す担い手へのメッセージ

儲かる農業も大事ですが、趣味や楽しみを持ち、メリハリのある経営をすることが、長く続けられるポイントだと思います。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・家業（梨、すもも、ぶどう、水稲）を継承
- ・中学生の時から継ぐ計画を持ち、農業高校、農大で学ぶ
- ・当時の梨部会長の園にて、実際の段取りを学び、自身の農場でも実践しながら技術取得
- ・現在梨、水稲中心。繁忙期が重複するため、作業外部化も取り入れながら経営

現在行っている農業経営の特徴

- ・梨はコストを抑えつつ、収益も上がる品種の組み合わせを選定
- ・昨今の夏場の天候不順により難しい場面もあるが、仲間と協力しながら克服している
- ・年間の作業スケジュールを基に、作業を分割・外部化し、労働力を補完。

私が応援できること

- ・事前に農地を少し確保して、自分で実践しながら、学んでいけるような準備が大切
- ・経営のことも親御さんと少しづつ話をして、状況を把握していくこと
- ・メリハリのある農業するために、一生懸命努力した自分へのご褒美や夢を持つこと（旅行、スポーツ等）はとても重要！

大分県指導農業士会

vol.43

R4~R5認定

かわづ ゆうじ
河津 祐二 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|------------------|
| ・営農地（市町村） | 日田市 |
| ・栽培品目（経営面積） | えのき 80万袋/年、梅 40a |
| ・営農年数 | 32年 |
| ・販路 | JA |

農業を志す担い手へのメッセージ

自分の経営のみならず、産地全体の5, 10年先を見据え、現状の労働力や規模等を再認識し、軌道修正していくことが、効率の良い、長く続く経営へと発展していくポイントと思います。

経営が安定して長続きするには、雇用は必ず必要。今は良くても将来は必ず必要になるものと想定しておきましょう。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・家業のえのき、梅を継ぎ、就農当初は菌床椎茸や舞茸にも取り組んだ
- ・将来、手元にいくら必要かを考え、そこを出発点として経営品目や規模を計画してきた
- ・現在も毎年経営計画を作成。経営環境悪化（単価2割安、経費2割増を想定）しても経営継続できるよう資金繰り等を考慮している

現在行っている農業経営の特徴

- ・年間安定した所得が確保できるよう日々営農
- ・毎年の経営計画にて経営環境が悪くなるシミュレーションも実施し、健全経営を実践
- ・農地の面積が少なくても所得を確保できる品目としてえのきを選択（回転率が早いことも理由）

私が応援できること

自分の経営および産地の5年、10年先を想定し、わかっているリスク（労働力不足や高齢化による産地の縮小等）には、しっかりと備えることが重要。これからの担い手の皆さんに実践を通じて伝えていきたい。

大分県指導農業士会

vol.44

R4~R5認定

さとう しゅういち
佐藤 秀一 さん



(経営概況)

- ・ 営農地（市町村） 九重町
- ・ 栽培品目（経営面積）
夏秋トマト45a、水稲120a
- ・ 営農年数 24年
- ・ 販路 JA

農業を志す担い手へのメッセージ

農業は一生の仕事！無理せず自分のペースで長く続けられる経営を目指して下さい！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・ 家業であった農業（トマト、水稲、肉用牛）を継承
- ・ 約10年前にトマトと水稲を経営の柱に
- ・ 就農してからコツコツと施設を整備
- ・ 6年ほど前から九重町における夏秋トマトのファーマーズスクール（FS）のコーチに就任

現在行っている農業経営の特徴

- ・ 夏秋トマトのFSコーチとして、新規就農者の育成にも注力
- ・ 農事組合法人 くりばるの組合長として、地域の農地保全にも取り組んでいます
- ・ 雇用（パート2名）を活用し、経営規模を維持

私が応援できること

生活面も含め、地元にも根付いた農業経営を応援します。

自分の農業だけでなく周囲の農地を守ることの大切さも伝えていきたいです。

また、作業動線を考慮した農地選び等、実践に基づいたアドバイスも出来ます。

大分県指導農業士会

vol.45
R4~R5認定

わしず ようこ
鷲頭 洋子 さん



(経営概況)

- ・営農地（市町村） 九重町
- ・栽培品目（経営面積）
黒毛和牛繁殖170頭、肥育牛10頭、農家レストラン
- ・営農年数 41年
- ・販路 JA等

農業を志す担い手へのメッセージ

人は夢を抱くと強くなれます。
そして、夢に向かって一心に進んで下さい。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・結婚と同時に就農 当時は繁殖牛20頭の経営
- ・その後、経営移譲を受け100頭規模まで拡大し、現在は150頭へ増頭
- ・自分達の育てた安心、安全、おいしさを消費者の皆様届けたいとの夢を持ち、6次化に取り組み農家レストラン「べべんこ」を立ち上げ
- ・娘達2人も加わり、自家肥育の豊後牛、米、私達の手作り味噌や野菜をレストランに供給
- ・3年前に法人化（代表取締役は長女）し、若者や女性の働きやすい環境づくりを目指しています

現在行っている農業経営の特徴

- ・繁殖牛は自給飼料100%
- ・子牛は4ヶ月齢以降に母子分離
- ・繁殖牛経営は夫、長女、従業員2名
- ・レストランは次女を中心に女性従業員とパートを雇用
- ・子育て中の従業員には子育てしやすい環境づくりを心がけています

私が応援できること

- ・飯田高原にて農業の6次産業化を通じ雇用型経営を実践
- ・女性や若手経営者の育成にも積極的に関わっています
- ・経営管理、会計、レストランで使用する野菜づくり、子牛の健康管理等、日々仕事はたくさんありますが、「農業の楽しさ」を皆さんに伝えたいです

大分県指導農業士会

vol.46
R4~R5認定

あさおか せいいち
浅岡 清一 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|--------|
| ・営農地（市町村） | 九重町 |
| ・栽培品目（経営面積） | 梨1.7ha |
| ・営農年数 | 12年 |
| ・販路 | JA等 |

農業を志す担い手へのメッセージ

自然相手のため、苦しいときもあるが、諦めず一生懸命努力を続けて欲しい！

これからは雇用しないと営農継続は難しい。近所の人にいつでも声を掛けられるよう、日頃の地域とのつながりを大切に！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・定年退職を機に家業である農業を継承
- ・梨、水稻は作業性を考慮しながら規模拡大してきた
- ・JA出荷のほか、直売等も行い、販売口又減少に取り組んでいる

現在行っている農業経営の特徴

- ・梨は現在、早生から晩生まで生産しているが、労働力に合わせ、品種構成を変えている
- ・ふるさと納税の返礼品や直売を通じ、消費者のニーズ把握に努めている

私が応援できること

- ・梨は無収入の期を如何に短縮できるかが重要
- ・農地確保や早期成園化の技術、また極力緻密にデータを把握することなど、実践に即したアドバイスをしていきたい

大分県指導農業士会

vol.47
R4~R5認定

よしみつ こういち
吉光 巧一 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|----------|
| ・営農地（市町村） | 九重町 |
| ・栽培品目（経営面積） | 白ねぎ（3ha） |
| ・従業員数 | 10名（臨時） |
| ・営農年数 | 15年 |
| ・販路 | 市場 |

農業を志す担い手へのメッセージ

白ねぎの生産技術及び病害虫に対する専門知識の養成を行いたい。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・子供の専門学校進学をきっかけに会社員を辞め、定年のない農業を目指すことになった
- ・初期投資の少ない「白ねぎ」を経営主体品目に選び、現在に至る
- ・高冷地の為、地域の性質上、夏秋どりしかできないが、令和元年度より、無収入の期間が少なくなるように、他地域で冬春どりも行っている。

現在行っている農業経営の特徴

- ・就農当初からブランド化を目指して、現在白ねぎ「白王」として販売
- ・異常気象により病害虫の多発が常態化している中、安定した収量と品質を得るため、情報や農薬データを収集して、早期防除に心掛け、作物の生長を阻害しないようにしています

私が応援できること

自分が農業で経験して良かった事や、失敗した事を伝え、農業を長く継続してもらえる様に手助けが出来ればと思っています。

大分県指導農業士会



ながお ゆきひろ
長尾 雪広 さん



(経営概況)

- ・ 営農地 (市町村) 玖珠町
- ・ 栽培品目 (経営面積)
水稲21a ピーマン12a 肉用牛7頭
- ・ 営農年数 19年
- ・ 販路 JA等

農業を志す担い手へのメッセージ

生命をつくり、育て、自分も成長していく、そんな機会を必要とする人になってもらいたい。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・ 将来は肉用牛への就農を目指していた
- ・ 高校卒業後、畜産の業界を深く学ぶため食肉関連会社に長年勤務
- ・ 平成14年に家業の農業を継承し、水稲とピーマン栽培をスタート
- ・ 平成16年より念願の和牛繁殖経営も開始

現在行っている農業経営の特徴

- ・ 水稲、ピーマン、繁殖牛の複合経営
- ・ 経営のコストを抑え、極力自己資本による経営に努めています
- ・ 労力にあった経営になるよう、日々工夫しています

私が応援できること

自ら実践しながら学べる環境づくりのため、実践用のハウス（ピーマン）も用意しています！

大分県指導農業士会

vol.49
R4~R5認定

じんれん かつゆき
神連 克之 さん



(経営概況)

- ・ 営農地（市町村） 玖珠町
- ・ 栽培品目（経営面積）
ピーマン24a、白ねぎ20a、さといも5a
- ・ 営農年数 31年
- ・ 販路 JA

農業を志す担い手へのメッセージ

農業は「常に反省」し、「探究心を持ち」、「ポジティブに楽しく」をモットーに日々励んで下さい。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・ 若い時から農業に興味があり、30年程前に就農しました
- ・ 特に有機栽培に興味があり、現在に至ってます
- ・ 地域や同じ品目を作っている仲間づくりを大事にし、自分だけが頑張るのではなく、仲間と共に切磋琢磨することを心がけてます

現在行っている農業経営の特徴

- ・ GAP（農業生産工程管理）を一部で取り入れ、安全・安心な作物を消費者に届けられるよう努めてます
- ・ 新しい技術などは、必ず自分の目で見て確かめ、仲間と相談しながら取り組んでいます

私が応援できること

農業は、初期投資を如何に抑えてスタート出来るかがポイント。

また、土壌や気候などの環境は毎年変化するため、常に工夫と反省をしながらも、「楽しむ」ことの大切さを伝えていきたいです。

大分県指導農業士会



のむら
野村 ゆきひろ
幸弘 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|------------|
| ・営農地（市町村） | 玖珠町 |
| ・栽培品目（経営面積） | 夏秋トマト（35a） |
| ・営農年数 | 15年 |
| ・販路 | 農協 |

農業を志す担い手へのメッセージ

農業は大変な事も多いですが、努力した事が結果に現れると思います。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・29歳の時に会社を退職
- ・家族が所有している水田をトマトに転換
- ・20aから始めて、徐々にハウスを増設し現在35aで経営
- ・労働力の省力化に向けた栽培技術の研究にも取り組んでいます

現在行っている農業経営の特徴

- ・コスト削減による経営の維持を図っています
- ・労働力不足の対策として、省力化・軽労化に取り組んでいます
- ・新しい品目導入を計画中

私が応援できること

自分の身の丈にあった経営から始めることが重要だと思います。

自分が就農して経験した失敗や成功事例について話しながら、共に成長していきましょう！

大分県指導農業士会

vol. 51
R4~R5認定

ふじもと たいち
藤本 太一 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|------------------------------|
| ・営農地（市町村） | 玖珠町 |
| ・栽培品目（経営面積） | 水稲（1ha）、露地ピーマン（12a）、椎茸（10万駒） |
| ・従業員数 | パート延べ150日 |
| ・営農年数 | 30年 |
| ・販路 | 農協 |

農業を志す担い手へのメッセージ

人生は思い通りにはいかないものですが、どうすれば良いかを考えることも苦しみであり、楽しみでもあります。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・卒業後、サラリーマンを2年経験し、母の病気をきっかけに就農
- ・子供の頃から農業は手伝っていたが、職としての農業は失敗もあった
- ・30歳過ぎに経営を継承
- ・毎日の作業を四季と共に過ごす農業は、自分に何かを教え、育ててくれます

現在行っている農業経営の特徴

- ・コスト削減は必要だが、しっかりコストを掛ける部分とメリハリをつけている事
- ・しっかりとしたモノ作りは基本であり、売り先は自由です

私が応援できること

- ・30～40代は苦しい時期もありましたが、今思い出すと、暖かく、元気にもなります
- ・皆さんも苦しい時期はあるかもしれませんが、自分だけが苦しいと思わず、周りを頼り、相談して下さい

大分県指導農業士会

vol.52
R4~R5認定

なかむら
中村

しょうじ
詔治 さん

(経営概況)

- | | |
|-------------|---|
| ・営農地（市町村） | 中津市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 個人：水稲、そば(6ha)
法人：水稲、そば(8ha)
作業受託(5ha) |
| ・従業員数 | 臨時2名 |
| ・営農年数 | 39年(法人14年) |
| ・販路 | J A、直売、契約栽培 |



農業を志す担い手へのメッセージ

人生は一回しかない。目標に向かって挑戦するべし！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

40年前小平市（東京都）で庭にヤギを遊ばせ、ブルーベリー栽培をしているのにあこがれ、帰郷して実家の農業を継ぎました。3年ほど栽培してみたものの、ブルーベリーは土地に合わない気がしたので、圃場整備のタイミングでハウスを建てて、いちご栽培に取り組みました。

その後、地域の農家も激減したので、地域の農地を集約するため、水稲、そば中心の経営に移行し、法人を立ち上げ現在に至ります。

現在行っている農業経営の特徴

水稲、そばを中心に作業受託も受けています。地域は中山間地域に位置しており、農地は一枚の面積が狭く傾斜地で、鳥獣害にも毎年見舞われています。

中山間地域等直接支払交付金を有効に活用しながら地域のみinnで頑張っています。

私が応援できること

- ・オペレーター技術
- ・そば栽培
- ・ブルーベリー栽培
- ・米作りは少し自信なし

自分で時間を作って農村暮らしを楽しみましょう！

趣味は絵画です。

責任は持てませんが相談に来てください。

大分県指導農業士会



たかまる ひろし
高丸 博 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|-----------------|
| ・営農地（市町村） | 中津市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 梨（40 a）ぶどう（30a） |
| ・家族経営 | 3名 |
| ・営農年数 | 24年 |
| ・販路 | 主に直売・市場 |

農業を志す担い手へのメッセージ

現在農業は厳しい状況ですが、今から若い皆さんが農業を盛上げて！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

自分は、農業高校を卒業して一度会社に就職しましたが、工場での作業が嫌になり、退職して農業をやり始めました。家族とともに梨と種なしぶどうを栽培しています。

農業を始めてから農業後継者の団体に入って視察研修や、自分の経営課題を解決するためのプロジェクト発表などを行う中で、いろいろなことを学ぶこともでき、農業者の仲間もできました。その経験が今の栽培技術にも活かされています。

現在行っている農業経営の特徴

梨5品種、種なしぶどう4品種を栽培し、主に生産者直販で販売しています。

旧中津市の果樹農家は主に直売で生計を立てており、近隣に生産者直売の農家が多くあり、フルーツロードと銘打つことでお客さんが集まりやすく、集客効果が上がっています。

私が応援できること

私が応援できることはこれまで培ってきた梨、ぶどうの栽培面での技術指導です。他はできませんが.....

なにか気になることがあれば遠慮なく声をかけて下さい。

大分県指導農業士会

vol.54
R4~R5認定

なかしま のぶお
中島 信男 さん



(経営概況)

- ・営農地（市町村） 中津市
- ・栽培品目（経営面積） 個人：水稲(70a)
法人：水稲・大豆・小豆・加工、レストランなど(3.8ha)
- ・従業員数 3名（うち2人農の雇用）
- ・営農年数 46年（法人11年）
- ・販路 産直・農協・個人直売所

農業を志す担い手へのメッセージ

自分を大切にし、良き同行者を見つけ、地域を大切にすること。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

農業を中心に地域社会を守る活動を続けてきました。10年前に仲間と農事組合法人「樋桶の郷」を設立し、今は後継者を育て、地域を継続させることに取り組んでいます。村外からでも志を同じくする若者を受入、その方たちが生活できる手助けをしています。

そのために営農組合では農薬を使わない作物の栽培と、それを使った加工品の販売、小さな田んぼを作る「てえもり学校」（現在7名）、地域のお年寄りと食事を共にするレストラン（つうだらだった）（月2回）等、いろいろ多彩に楽しく行っていますが、常勤職員が3人で経営的にはここ2・3年が一番大変な時期だと思っています。

現在行っている農業経営の特徴

無農薬栽培に取り組み、一部を加工する、産直で販売するなどして付加価値を高めることで利益の向上を図っています。

法人で雇用している移住者それぞれに、ほ場を割当て、栽培管理を任せることで主体的に取り組むことが出来るよう工夫し、後継者として育成しています。

私が応援できること

新規就農では地縁がない場合が多く、相談先、仲間づくりなどで不安があると思います。

私の経営は、見ていただくものは少ないですが、お話を聞き、色んな人につなげることはできます。

お気軽に話をしに来て下さい。

大分県指導農業士会

vol.55
R4~R5認定

おはら よりこ
小原 頼子さん



(経営概況)

- ・営農地（市町村） 中津市
- ・栽培品目（経営面積） 柑橘・栗（4.7ha）・加工品
- ・従業員数 常勤・非常勤含13名
- ・営農年数 21年
- ・販路 道の駅、直売所

農業を志す担い手へのメッセージ

キツイ、汚い、儲からないイメージでしたが今ではまんざらでもありません。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

主人の親二人が病に倒れたとき、主人はサラリーマンで果樹園を継ぐ人がいませんでした。そこで、まったく農業経験の無かった私が就農し、園の管理を引き継ぎました。終の棲家と決めて引っ越してきて間がない時だったので友だちもいなく、隣近所もどんな人が住んでるかもわからない状況の中、とにかくひたすら頑張ってきました。主人が早期退職して一緒に農業するようになってからは、付加価値をつけた販売のため加工品の開発・販売も手がけました。個人事業主、白色申告、青色申告、そして株式会社に、少しずつ少しずつ慎重に手堅くここまで築き上げました。

現在行っている農業経営の特徴

柑橘は40種類以上の品種を栽培。独自の品種を開発するなど直売所を中心に多品種の強みを活かした販売を行っている。

規格外品の有効活用から始まった加工品開発も拡大。今ではスマート農業実現のため大学との研究支援も進めている。

私が応援できること

自分自身、まったく農業を知らないところからのスタートだったので、初めて農業をする方の気持ちが分かります。

農業実習の受け入れをし、農業の魅力を存分に伝えていきたいと思っています。

大分県指導農業士会

vol.56
R4~R5認定

つじ やすひろ
辻 康弘 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|--------------------|
| ・営農地（市町村） | 中津市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 水稲（1ha） |
| | （株）農業生産法人やまくに代表取締役 |
| ・営農年数 | 16年 |
| ・販路 | 直売・市場 |

農業を志す担い手へのメッセージ

先人の技術をしっかり学んで自分のものにしてください。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

高校卒業後はサラリーマンをしていましたが、父の病気を機に山国にUターンし、その時に初めて本格的に農業を始めました。それまでは農業機械に乗ったこともなかったのですが、水稲中心の経営のかたわら、平成23年に公益社団法人「農業公社やまくに」に入社してオペレーターとして先輩に指導を受け技術を学びました。

平成28年には農地の受け皿として設立された「株式会社農業生産法人やまくに」にも籍を置き、その後、3年前に前代表から引き継ぎ、代表取締役としてオペレーターをしつつ後進の育成をしています。

現在行っている農業経営の特徴

自身の水稲経営とは別に、「(株)農業生産法人やまくに」の代表として「農業公社やまくに」と連携し、地域の農地の受託・作業受託等を行っています。

条件不利地である中山間地域で農地の受け皿となることで、地域に貢献しています。

私が応援できること

私も農業未経験からの出発だったので、農業経験は無くとも意欲のある方に営農指導を続けていくことで、将来的には独立して農業経営ができるよう、公的機関とも連携して支援し、地域を支える農業者の育成に貢献していきたいです。

大分県指導農業士会

vol.57
R4～R5認定

いいじま まさとし
飯嶋 誠利 さん

(経営概況)

- | | |
|-------------|--------------------------------------|
| ・営農地（市町村） | 中津市 |
| ・栽培品目（経営面積） | ねぎ120a、ブロッコリー100a、
小ねぎ65a、他野菜250a |
| ・従業員数 | 家族3名、雇用5名 |
| ・営農年数 | 22年 |
| ・販路 | 直売所 |



農業を志す担い手へのメッセージ

農業に興味があるなら農家のお手伝いからでもはじめて見ませんか？

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

祖父や父が野菜や畜産、観光農園などを営んでおり、農業を身近に感じて育ちました。自分自身は農業高校を卒業後、ケールの栽培を行う会社に就職しましたが、さらに農業を学ぶため、タキイ園芸専門学校に入学。園芸に関する知識を深めました。卒業後は岐阜県で新規就農しましたが、親は大分県で農業に取り組んでおり2拠点で農業を続けるよりはとの思いから10年後、大分県へUターンしました。当初はハウス小ねぎ中心の農業でしたが、地元の道の駅直売所ができたのをきっかけに、直売所向け野菜の多品目栽培へ移行し、品目・面積の拡大を続けています。

現在行っている農業経営の特徴

同一品目のみでは、価格暴落や作業ピークの偏りなど経営リスクがある。直売所向けに多品目の野菜を、年間通して出荷量を一定になるよう作付けすることで、どの月でも収入が安定する。常時雇用出来るだけの仕事量も確保出来るため、雇用の安定化にもつながっている。

私が応援できること

直売所向け野菜の販売動向を把握し、栽培計画をたてています。連作障害や要素欠乏症なども考慮した作付け計画についてお話できます。

農業に最初に触れる機会を提供するため、条件が合えば、短期雇用や農業体験研修も受け入れ可能です。

大分県指導農業士会

vol.58
R4~R5認定

なかい ていいち
仲井 貞一 さん



(経営概況)

- ・営農地（市町村） 豊後高田市
- ・栽培品目（経営面積） 白ねぎ・花き・野菜（30ha）
（株）仲井農園代表取締役
- ・従業員数 正規雇用24名パート1名
- ・営農年数 41年
- ・販路 直接取引・JA通し相対取引

農業を志す担い手へのメッセージ

目指す農業を突き詰めて！事業に失敗はつきもの、やり直しはききます。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

実家が牧場経営を始めるため、進路変更して、実践大学の畜産課へ。卒業後畜産を始めたものの、8年目に牛肉の輸入が自由化されたことで1億5千万円の借金を抱えることに。肥育から回転の速い育成へ転換するとともに、白ねぎを始めた。畜産の育成補助金が下がったのを機に畜産部門を人に譲り、白ねぎに集中して経営を立て直した。

40代の頃には借金を完済。今の時代は政治・経済・輸入などでこれから先何が良いか分からないので、連作対策を兼ね、白ねぎが価格・品質ともに不安定になる夏の代替作物を模索しており、ホオズキ、かぼちゃにも取り組んでいる。

現在行っている農業経営の特徴

- ・白ねぎを周年安定的に出荷することを目指し、市内の干拓地帯を主軸に夏は温暖化リスクを避けて市外の高原地帯に出作している。
- ・従業員が多く自分が全作業を確認することができないので、GAPを取得し生産工程ごとに従業員の責任の所在を明確に位置づけることで安定した品質の生産を維持している。

私が応援できること

いろいろな問題を乗り越えた経験があるので、現場のことから経営のことまで何でも相談にのります。自分の経験してきたことは話せますが、価値観はそれぞれだと思うので押しつけるのではなく、お互い一緒に勉強になればと思います。農業をとりまく条件は年々厳しく、自分も勉強を重ねたいと思っています。

大分県指導農業士会

vol.59
R4~R5認定

かたぎり かずひこ
片桐 和彦 さん



(経営概況)

- | | |
|--------------|-------------|
| ・営農地 (市町村) | 豊後高田市など |
| ・栽培品目 (経営面積) | 肉用牛肥育(700頭) |
| ・従業員数 | 12名 |
| ・営農年数 | 16年 |
| ・販路 | 自社流通 |

農業を志す担い手へのメッセージ

生産だけに目を向けず、自力で販売し、ガッチリ儲けよう！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

妻の家の家業であった肉用牛肥育に興味があり、平成18年に就農しました。就農時は、和牛肥育70頭でしたが、経営規模も小さく、収入も安定しませんでした。5年くらいかけ、徐々に増頭し、平成23年に130頭ぐらいに牛が増え、割と収入は安定しましたが、利益として残る金額は少なかったです。

それまでは系統販売をしていましたが、平成25年からは自力で販売するよう方針転換したことで、販売経費も減り、利益として残る金額が増えました。順調に販売先も増え、牛が足りなくなったので平成29年に杵築市に新牛舎を建設し、現在は700頭規模で経営しています。

現在行っている農業経営の特徴

飼料を自家配合で作ってます。経費の4割近くを占める飼料は、一般的に外国産の穀物と牧草が中心で価格も外的要因で不安定ですが、国産中心の穀物の副産物、飼料用米を自家配合して使うことで安価安定に供給できます。サシ重視でなく明日も食べなくなる美味しい肉になるよう心掛けて配合しています。

私が応援できること

つい、売上げを上げることに目を向けがちですが、入る金額だけでなく、出る金額(経費)をいかに抑えるかによって手元に残るお金が決まります。

経営者として経費削減や経営安定化を目指す視点や、販路開拓のためのバイヤーとの付き合い方など自分が取り組んできたことをお話しできると思います。

大分県指導農業士会

vol.60
R4~R5認定

いずみ じん 和泉 陣 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|---------------------|
| ・営農地（市町村） | 豊後高田市 |
| ・栽培品目（経営面積） | ぶどう(2ha)、白ねぎ(3ha) |
| ・従業員 | 両親、妻、
正規2名、パート6名 |
| ・営農年数 | 18年 |
| ・販路 | J A 共販、直売、輸出など |

農業を志す担い手へのメッセージ

時代で変化する消費者の期待に応え、誇りを持ち、健康で楽しい農業を！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

両親が楽しそうに農業経営をしており、その姿を見て平成11年に就農する。就農する際に、親が65才で経営移譲すると約束。約束どおり平成17年に経営を継承。就農してすぐ、それまでやっていた有核巨峰からシャインマスカットへの転換を地域でもいち早く実践。自分が主体になれる部門ができたことで継承までの間に経営者としての意識を持つことができた。継承時期が決まっていたので、その数年前から参加した簿記研修も役立った。

継承後はぶどう、白ねぎ両部門とも自分が主体となって経営している。ぶどうは海外輸出に取り組むなど常に新しい取組を模索している。

現在行っている農業経営の特徴

- ・ぶどう+白ねぎの大規模複合経営
- ・農家民泊にも力を入れている。
- ・先進的にシャインマスカット等の有望品種へ転換し、海外輸出に取り組んでいる。
- ・白ねぎは、安心安全な生産のためJGAPを取得。また全自動収穫機を導入するなど省力化し、働きやすい環境を構築。
- ・周年出荷・周年雇用の形態を確立している。

私が応援できること

技術力や時代を読む力を磨いて、常に改善・挑戦をしながら経営しています。

私も農業青年として活動をしていましたので気持ちが分かる部分もありますし、市のファーマーズスクールの就農コーチとして新規就農者の支援もしていますので、これからも自分のできることは応援していきます。

大分県指導農業士会

vol.61
R4~R5認定

つちや
土谷
ともこ
朋子 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|---------------------------|
| ・営農地（市町村） | 豊後高田市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 水稻・飼料用米・WCS
大麦若葉（13ha） |
| ・家族経営 | 夫 |
| ・営農年数 | 20年 |
| ・販路 | J A、ヤクルトヘルスフーズ |

農業を志す担い手へのメッセージ

儲かるか儲からないかは、自分次第。すべてはやるかやらないか。分からないことがあればすぐ周りの人に聞いて情報を取りに行くなど「はじめの一步をはやく踏み出す」ことが、すごく大事です。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

結婚を機に、主人と両親の4人で生椎茸と水稻3haから始め、現在は頼まれた田はすべて借り受けています。田んぼの条件が悪くても断らずに作っていたら13haまで面積が拡大しました。

夏は水稻、冬は大麦若葉と経営の主体を分散させることで、労働ピークを分散し、機械も効率的に利用できるので無理なく面積を拡大することが出来ました。

現在行っている農業経営の特徴

人は雇わず、できるだけ機械作業で効率を上げ、手作業を減らしています。

中山間地域に位置しているのでは場一枚あたりの面積が狭く、法面の草刈も多く、日当たりも悪く、イノシシ、シカの被害が多いので、それらの対策が今後の課題です。

私が応援できること

農業を営むには、良い物を作るだけではなく、利益を上げなければ続けられません。

自分の経営を数字で見ることが出来るように、経営分析、青色申告、各種税金の勉強を一緒に頑張っていきたいと思っています。

大分県指導農業士会

vol.62
R4~R5認定

いけだ まさひこ
池田 雅彦 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|---------------|
| ・営農地（市町村） | 宇佐市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 水稲・飼料用米（22ha） |
| ・家族経営 | 妻、長男 |
| ・営農年数 | 45年 |
| ・販路 | J A 共販・直売 |

農業を志す担い手へのメッセージ

夢は夢。夢を目標に変えて、実現するための手段を考える！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

18才で高校卒業後、父親のもとで兼業農家を始めました。父が病気で倒れてから専業になり、しばらく母と、妻とともに営農していました。その後、8年前に長男が就農して、今は妻と長男の三人で営農しています。

20年位前から、9集落一体となって村づくりに取り組み、地域交流のためにまつりを開催したり、農業の分野では営農組合を法人化するなど地域の中心として活動してきました。中山間地域で条件は厳しいですが、地域を守るために集落の人と力を合わせています。

現在行っている農業経営の特徴

水稲を中心に飼料用米、WC S、加工用米などを作付けています。地域は中山間地域に位置しているので圃場一枚当たりの面積が狭く、管理が大変です。

その分、地域の環境を活かした付加価値のある米の販売を行い収益を確保しています。

私が応援できること

機械のオペレーター技術や水稲の省力・効率的な栽培方法を教えることができます。

集落の中での人との接し方に迷った時など、気軽に相談に来てください。

大分県指導農業士会

vol.63
R4~R5認定

おかざき けんいちろう

岡崎 憲一郎 さん

(経営概況)

- ・営農地（市町村） 宇佐市
- ・栽培品目（経営面積） 飼料用米・大豆・水稻・麦（15ha）
（有）むら豊富代表取締役
- ・営農年数 41年
- ・販路 J A、直売、加工販売等



農業を志す担い手へのメッセージ

刻々と変化する農業情勢を柔らかい視点を持って自分らしい経営を

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

高校卒業後は土建会社に就職しましたが、実家が兼業農家だったため、昭和51年に祖父のすすめで当時の長洲町農協に入組しました。必然的に農業を手伝うようになっていきましたが、平成元年に父が病にたおれたことで、経営が自分の肩に掛かってきました。

そこで、同じするならと面積の拡大を図っていき、平成15年にはJ A（当時はJ Aおおいた宇佐）を退職し農業に専念、平成16年に有限会社むら豊富を設立しました。現在は15haを経営しています。（飼料用米8ha、大豆3ha、水稻4ha、麦12ha）

現在行っている農業経営の特徴

一人親方なので作業が滞らないよう常に行程を見直しながら創意工夫をしています。

得意先への直接販売や大豆の加工品の開発・販売等を行いながら、付加価値をつけることで利益幅を上げる努力をしています。販売においても創意工夫の努力をしています。

私が応援できること

J Aの営農指導員としても、農家としても技術・経験を積み重ねてきました。

多様な人脈も確保してきましたし、その中でいろいろな情報や考え方も学んできました。

自分なりに知識を持っていると思うので全力で応援します。

大分県指導農業士会

vol.64
R4~R5認定

いわたけ たかし
岩武 敬 さん



(経営概況)

・営農地（市町村）	宇佐市
・栽培品目（経営面積）	小ねぎ（140a）
・家族経営	3名
・営農年数	18年
・販路	J A

農業を志す担い手へのメッセージ

目標を持って頑張ってください！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

きっかけは両親が小ねぎの経営をしていたから！

自分は農業大学校を卒業後、J A おおいた宇佐（現在のJ A おおいた）に就職して、4年間営農指導員としてねぎの指導や流通に携わりました。この時代に関係機関や市場の方と知り合い技術を磨いたり流通の情報を得たことが今の経営にも活かされています。

農業一本でやっていきたいとの思いで24才の時にJ A を退職して本格的に小ねぎ栽培に取り組みました。その後ハウスを50a増反し、現在の経営面積にまで拡大しています。

現在行っている農業経営の特徴

小ねぎ周年出荷ですかね！
季節によって品質に差が出ないよう品種選定や肥培管理などを工夫しています。

特に夏の暑さは小ねぎには厳しく、品質を落とさないよう注意して管理しています。

私が応援できること

特別なことは特に思いつきません。ただ、農業青年とも年が近いので積極的に交流していきたいです。

誰かと話すことで解決方法が見つかることもあると思うので、気軽に訪ねて来て下さい。

大分県指導農業士会

vol.65

R4~R5認定

ながはま みゆき

長浜 美由紀 さん

(経営概況)

- ・営農地（市町村） 宇佐市
- ・栽培品目（経営面積） 小ねぎ、米、麦等（10ha）
（株）ニシマキ代表取締役
- ・従業員数 正社員1名、パート3名
- ・営農年数 16年
- ・販路 市場、加工向け直売など



農業を志す担い手へのメッセージ

技術・考えなどを色々学び、農業を魅力あるものにしてください。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

就農のきっかけは、子供が小さいことで就職先が見つからず、親の手伝いで仕事を始めたのがきっかけでした。

最初はパートみたいなもので、父も子供が大きくなったら辞めるだろうと思っていたようなので、作業しかしていませんでしたが、思いの外続いていたので、3年ほど経ったところで、徐々に経理の仕事や経営などを教えてもらえるようになりました。いずれは後を継ぐのかなあと考えていた矢先、ある日突然、「代表かわったから」と言われ、考える間もなく2年前から代表に。

現在行っている農業経営の特徴

小ねぎは市場への出荷が主ですが、選別調製経費の削減ができ、価格が安定している加工向けの出荷を増やしています。あわせて危険分散のためにニンニク、白ねぎなどほかの作物も模索しています。

水田作は条件不利地ながら、冬作も麦を、品種を工夫しながら全面作付するなど有効に利用しています。

私が応援できること

自分は今でも、他の農家さんに飛び込みで相談に行ったり、話を聞いたりしています。品目が違う農家さんとでも、話をすることで経営のヒントをもらうことがあります。

いろいろな人と話をしてください。自分が知っていることは教えることができるので、意見交換しながらお互いに勉強していけるといいなと思います。

大分県指導農業士会

vol.66
R4~R5認定

おの つぎのぶ
小野 次信 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|-----------|
| ・営農地（市町村） | 宇佐市 |
| ・栽培品目（経営面積） | ぶどう（55a） |
| ・家族経営 | 父、妻 |
| ・営農年数 | 55年 |
| ・販路 | J A 共販・直売 |

農業を志す担い手へのメッセージ

品質・出荷時期ともに地域のトップになるために努力する。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

高校在席時から就農準備のため、ぶどうの植栽を開始（デラウエアなど）。この頃はぶどうは栽培方法も確立されていない高級果実で、高校生が安心院町のぶどう栽培の先駆けとなったことが新聞などにも紹介されました。昭和46年には梨栽培も始めましたが平成3年の台風19号などで2年連続収穫皆無となったことを機に主力をぶどうに集中。平成2年にピオーネを導入し平成6年に品種をピオーネに統一。平成26年にはシャインマスカットを導入して今はシャインマスカットのみを栽培しています。先んじて優良品種を取り入れ収益性の高い品種を栽培することを経営の柱にしています。

現在行っている農業経営の特徴

お客様ニーズより収益性を重視し、収益性の高いシャインマスカットのみ作付けています。そうすることで面積を減じても収益は年々向上しています。また、どんな作物も土づくりが基本と考え、堆肥を入れ、トラクターで鋤く、敷き草で雑草を抑制するなどし、ふかふかの土でぶどうを栽培しています。

私が応援できること

収益を上げるためには作業の能率をいつも考えながら仕事をする。同じ作業を一緒にしてみると、かかる時間の差を体感できるのでそれが改善点の気づきにつながります。アンテナを高く張って情報をつかみ勉強を続けること、人とのつながりを作ってきた経験などをお伝えします。

大分県指導農業士会

vol.67
R4~R5認定

すがはら
菅原
これのり
維範 さん

(経営概況)

- ・営農地（市町村） 宇佐市
- ・栽培品目（経営面積） 水稻・麦・WCS・花き
じゃがいも（80ha）
（有）フラワーうさ代表取締役
- ・従業員数 正規雇用7名 パート4名
- ・営農年数 58年
- ・販路 契約・直販・市場・JA共販など



農業を志す担い手へのメッセージ

「これで良い」と思わず、絶えず努力！死ぬまで努力！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

農業実践大卒業後、国営パイロット事業の農地にブドウ60aで就農。台風による被害が続いたためぶどうをやめ、親の水田を手伝ったが、自分で稼ぎたいと、28歳頃に宇佐重機を興した。

オイルショックで土建業だけでは厳しくなると見込み、認定農業者制度の制定を機に認定を受け、花苗用ハウスを建て農業に本格参入。4年で39aまで増反した。

集落の大規模ほ場整備完了や麦・大豆への有利な転作政策が打ち出されたのを機に平成12年から大豆を50haまで拡大。以降は施策の転換に合わせてWCSやじゃがいもなどを組み合わせながら経営を拡大している。

現在行っている農業経営の特徴

花・野菜苗、じゃがいも、水田作などを組み合わせることで、一年間を通じていつも収入が入る体制を構築しています。何を栽培するかは常に時流を読んで即時変更しています。

労力はピーク時の8割を雇用でまかない、不足する時に農作業派遣を活用することで無駄なく運用できる体制を作っています。

私が応援できること

農業は、概ね10年ごとに潮目が変わります。「経営者」として、情報をどのくらい仕入れきるか、時流を見極める目を養うことが大事です。

バイヤーとの付き合いや全国の農業者との付き合いなどから学べることは多岐にわたります。私のこれまでの経験はすべてお話しします。

大分県指導農業士制度について

- 次代の農業を担う優れた農業後継者の育成確保を図るためには、地域農業の指導的立場にある農業者の理解と指導援助が極めて重要であることから、現に優れた農業経営を行い、その農業経営や人生体験を通じて青年農業者等の育成に指導的立場にある農業者を「大分県指導農業士」として認定し、その活動を担ってもらう制度です。

指導農業士の条件

- (1) 農業技術、経営等が優れており、地域の推進品目の生産拡大または、地域農業の振興に指導的役割を果たしている者
- (2) 青年農業者等の育成指導に理解があり、かつ積極的な活動が出来る能力を有する者
- (3) 青年農業者等の研修の受入れ及び指導が可能な者
- (4) おおむね35歳～55歳未満の認定農業者または、同法人の代表者
- (5) その他知事が特に認める者

- 任期は1期2年で、認定にあたっては、認定候補者として、本人同意のうえ市町村長の推薦が必要です。

●指導農業士の主な活動内容

① 青年農業者の育成

- ・青年農業者に対する技術、経営相談及び指導
- ・青年農業者の資質向上
(研修会講師、プロジェクト活動の支援等)
- ・青年組織活動に対する指導助言 (プロジェクト実績発表大会における審査等)



② 新規就農者の確保・育成

- ・就農学校、ファーマーズスクール等の運営に対する支援
(指導補助や就農コーチへの就任、就農に係る支援等)
- ・新規就農者への指導助言
(技術や経営等の個別相談、地域融和等に対する支援等)
- ・就農希望者視察等の受け入れ
(新規就農者サポート体制 (経営・技術) への協力 (メンターとしての役割))



③ 農業教育への支援

- ・県立農業大学校の教育支援
(先進農家研修の受け入れ、経営講座の講師、外部評価委員等)
- ・農業体験学習等への支援

詳しくはこちらをご覧ください⇒
(大分県庁ホームページ 大分県指導農業士制度について)



大分県指導農業士 問い合わせ窓口 一覧

東部地区	大分県東部振興局	生産流通部	営農推進班	0978-72-1141
	別府市	農林水産課	農政係	0977-21-1133
	杵築市	農林水産課	農政企画係	0978-62-1809
	国東市	農政課	農政係	0978-72-5167
	日出町	農林水産課	農業振興係	0977-73-3127
中部地区	大分県中部振興局	生産流通部	営農推進班	097-506-5796
	大分市	農政課	担い手育成担当班	097-537-5628
	臼杵市	農林振興課	農業振興グループ	0972-63-1111 (代表)
	津久見市	農林水産課	振興班	0972-82-9514
	由布市	農政課	企画振興係	097-582-1293
南部	大分県南部振興局	生産流通部	営農・畑地化・畜産班	0972-22-1195
	佐伯市	農政課	園芸振興係	0972-22-3239
豊肥地区	大分県豊肥振興局	生産流通部	営農推進班	0974-63-3177
	竹田市	農政課	ブランド推進室	0974-63-4805
	豊後大野市	農業振興課	担い手支援係	0974-22-1001
西部地区	大分県西部振興局	生産流通部	営農推進班	0973-23-2217
	日田市	農業振興課	政策・担い手支援係	0973-22-8211
	九重町	農林課	農業振興グループ	0973-76-3804
	玖珠町	農林課	農政班	0973-72-7164
北部地区	大分県北部振興局	生産流通部	営農推進班	0978-32-1555
	中津市	農政振興課	農政振興係	0979-62-9047
	豊後高田市	農業振興課	農業振興係	0978-25-6243
	宇佐市	農政課	農政係	0978-27-8155
(大分県指導農業士会・事務局)		大分県農林水産部	新規就業・経営体支援課	097-506-3598

大分県指導農業士からのメッセージ

令和5年1月 発行

著 者 大分県指導農業士会

(事務局)

大分県農林水産部新規就業・経営体支援課

〒870-8501 大分市大手町3-1-1

TEL (097)-506-3598

E-mail a15270@pref.oita.lg.jp



日本一の
おんせん県おおいた

